Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

マイクロコンポーネントシステム

型名 UX-DM8-B/-W/-S

省エネ設計

省エネ回路により本体部は、
電源待機時　消費電力 0.9 W
(DISPLAY OFF時)

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4〜6ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

http://www.victor.co.jp/reg/

GVT0204-001A

こんなことができます

もくじ

はじめに

準備

基本操作

聞く

録音する

編集

タイマーを使う

便利な機能

知っておいてほしいこと

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠警告

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に設置すると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや、熱器具の近くなど高温になるところ
- 窓際など水滴の発生しやすいところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- 不安定なところ
- 振動の激しいところ

寒い所から急に暖かい部屋へ移動したときは、1～2時間待ってから電源を入れてください。

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

本機は電源プラグの抜き差しで、主電源が「**入**」/「**切**」します。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

⚠注意

手を挟まれないよう注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(−)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池を充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

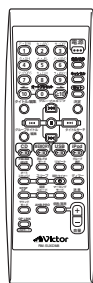
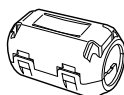
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

欧州連合のリサイクルマークです。

付属品

リモコン(1個)
UX-DM8-B ：RM-SUXDM8-B
UX-DM8-S ：RM-SUXDM8-S
UX-DM8-W ：RM-SUXDM8-W

単3形乾電池(2本)
（リモコン動作確認用）

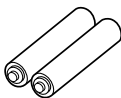
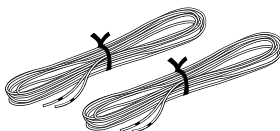
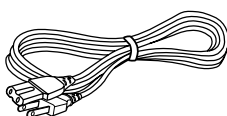
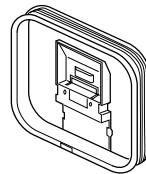
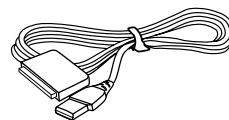
FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

スピーカーコード
(2本)

電源コード
（1本）

iPod専用ケーブル
（1本）

コアフィルター
（1個）

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器や蛍光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房をはじめた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

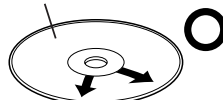
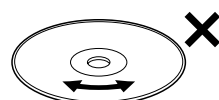
ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

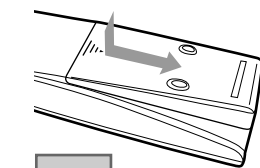
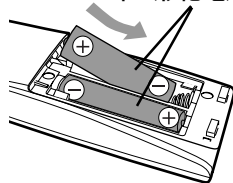
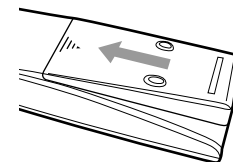
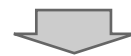
CDの取り扱いについて

CDの取り扱いかた

- CDにテープやシールなどをはったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

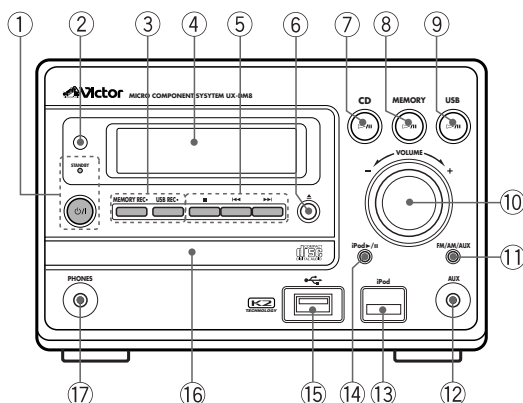
CDのお手入れ

内側から外側へ柔らかい布でふく

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる

リモコン内部の極性（⊕/⊖）表示に合わせて正しく入れてください。

ご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意（➡6ページ）」をお読みの上、正しく取り扱ってください。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

各部の名称　ー(　)内の数字のページに説明がありますー

本体

① ⏻/| (電源) (12)
STANDBY(スタンバイ)ランプ
電源「**切**」のとき赤色に点灯します。

② リモコン受光部(9)

③ 録音ボタン
・MEMORY REC (37～39、41～43)
・USB REC (37～39、41～43)

④ 表示窓

⑤ ■(停止)
・CD (20)
・内蔵メモリー(20)
・USB機器(20)

⏮、⏭
・ラジオ (14)
・CD (20)
・内蔵メモリー(20)
・USB機器(20)
・iPod(27)

⑥ CD ⏏(取り出し) (18、20、53)

⑦ CD ▷/❚❚ (12)

⑧ MEMORY ▷/❚❚ (12)

⑨ USB ▷/❚❚ (12)

⑩ VOLUME(ボリューム)つまみ (13)

⑪ FM/AM/AUX (14、28)

⑫ AUX端子 (28)

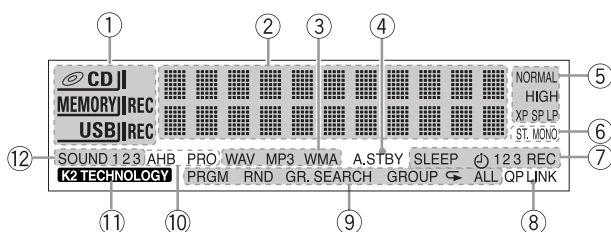
⑬ iPod端子 (26)

⑭ iPod ▶/❚❚ (12)

⑮ ⭠(USB)端子 (19、36、40)

⑯ CDトレイ (18)

⑰ PHONES(ホーンズ)(ヘッドホン)端子
ミニプラグ付ヘッドホン(別売り)をつなぎます。
プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

表示窓

① ソース(音源)状態表示(18、19)
REC表示(39、41～43)

② 情報表示部

③ ファイル形式表示
・WAV表示(19)
・MP3表示(18)
・WMA表示(18)

④ A. STBY(オート スタンバイ)(52)

⑤ 録音情報表示
・録音スピード表示(**NORMAL**、**HIGH**)(37)
・録音モード表示(**XP**、**SP**、**LP**)(36)

⑥ FMモード表示
・ST.(ステレオ)表示(14)
・MONO(モノ)表示(14)

⑦ タイマー表示(49)

⑧ QP LINK(リンク)表示(29)

⑨ 再生モード表示
・PRGM(プログラム)表示(21、22)
・RND(ランダム)表示(23)
・GR.(グループ)表示(25)
・SEARCH(サーチ)表示(25)
・GROUP(グループ)表示(23)
・リピートモード表示(⟲ ALL)(24)

⑩ AHB PRO(プロ)(13)

⑪ K2 TECHNOLOGY(テクノロジー)表示
ソース(音源)がCD、内蔵メモリー、USB機器のとき点灯します。

⑫ SOUND(サウンド)表示 (13)

リモコン

① 電源 (12)
② 表示/文字 (15、25、30、36、44、45)
③ キャンセル (12、22、44、45、49~51)
④ セット (12、15、22、25、37、38、41、44~48)
⑤ 決定 (15、25、38、38、41、43、44、46~48、50、51)
⑥ I◀◀、▶▶I
・ラジオ (14)
・CD (21、22)
・内蔵メモリー (21、22)
・USB機器 (21、22)
・iPod (27)
・時計、タイマー (12、49~51)

■ (停止)
・CD (21)
・内蔵メモリー (21)
・USB機器 (21)

I<<、>>I
・CD (21)
・内蔵メモリー (21)
・USB機器 (21)

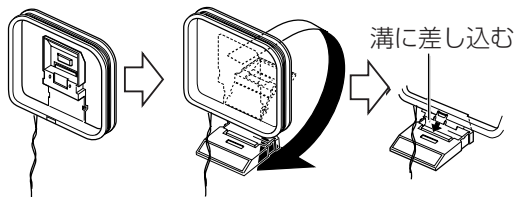
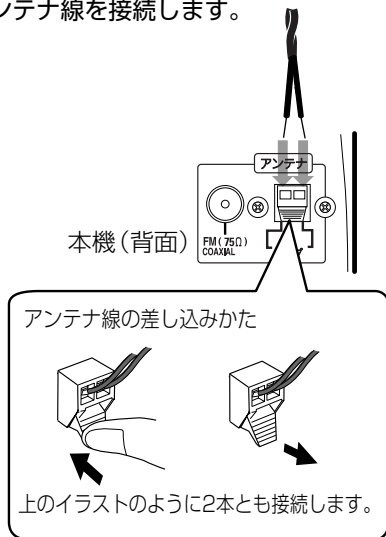
⑦ タイトルサーチ(25)
⑧ USB ▶/❚❚ (20)
⑨ iPod ▶/❚❚ (26)
⑩ リピート(24)
⑪ グループ選択(21)
⑫ 時計/タイマー ◷(12、49~51)
⑬ ディマー(52)
⑭ マーキングモード(38)
⑮ 消音(13)
⑯ 低音/高音(13)
⑰ 音量 +、− (13)
⑱ QP LINK/USBモード (29/32)
⑲ AHB PRO(13)
⑳ サウンドモード(13)
㉑ 録音スピード(37)
㉒ XP/SP/LP(37、38)
㉓ スリープ(49)
㉔ オートスタンバイ(52)
㉕ 再生/FMモード(14、21~24)
㉖ FM/AM/AUX(14、28)
㉗ MEMORY ▶/❚❚ (19)
㉘ CD ▶/❚❚ (18)
㉙ グループタイトル/編集 (46、48)
㉚ タイトル/編集 (15、46~48)
㉛ オートプリセット (15)
㉜ 10、≧10 (12、15、21、44、45)
㉝ 数字ボタン(12、15、21、44、45)

リモコンの操作

- リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約5m以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

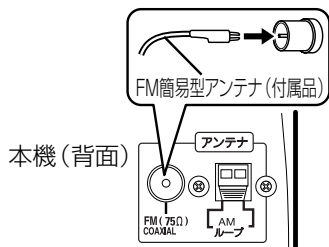
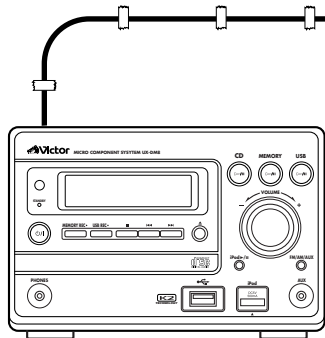
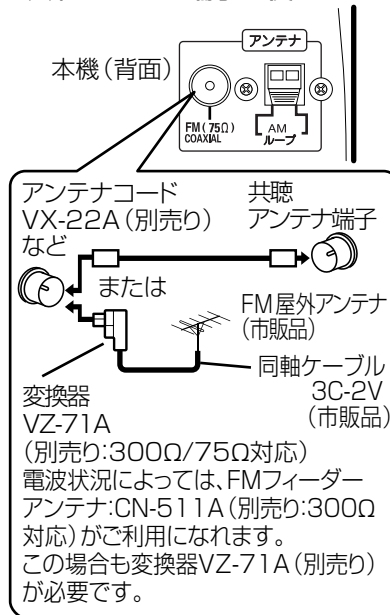
接　続　ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

AMアンテナの接続

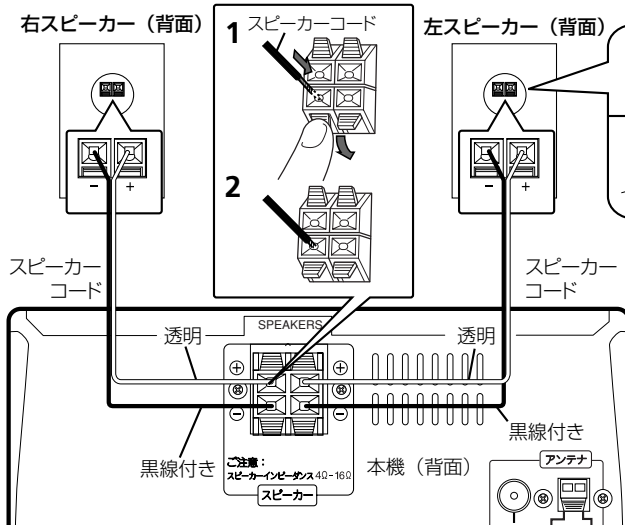
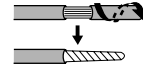
1 AMループアンテナ(付属品)を組み立てます。

2 アンテナ線を接続します。

3 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。AMループアンテナは、本体からできるだけ離して置いてください。

- AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください
(「ラジオを聞く」➡14ページ)。

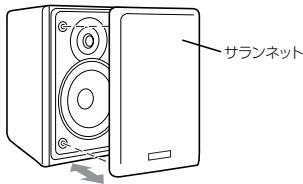
FMアンテナの接続

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

■付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書を参照してください。

スピーカーの接続

- スピーカーには左右の区別はありません。

スピーカーコードの先端のビニールは、**ねじりながら抜き取ります。**

- 接続後、スピーカーコードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

ご注意

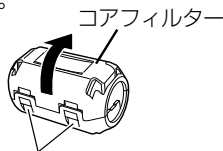
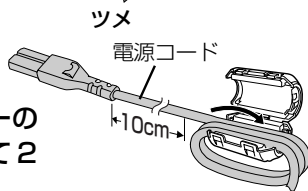
- **スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。**
- **他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。**

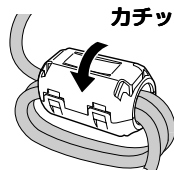
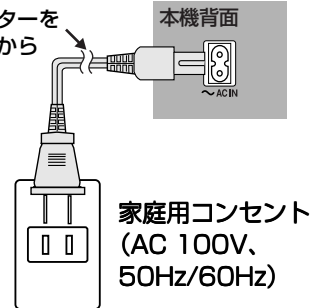
サランネットは取りはずすことができます。

お知らせ

- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω〜16Ωです。
- 本機の内部で発生した熱を放出するために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上間隔をあけてください。
- 本機のスピーカーは、防磁設計になっておりません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。

コアフィルターの取り付け

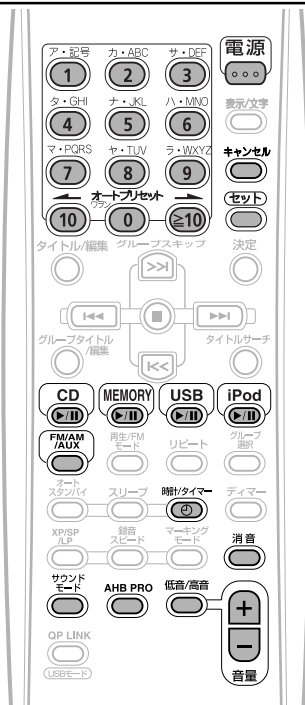
付属のコアフィルターを電源コードに取り付けると、雑音を抑えることができます。

1 **ツメを外してコアフィルターを開く**

2 **電源コード（付属品）をコアフィルターのくぼみに沿って２周巻きつける**

- 本体側から10cmのところにコアフィルターを巻きつけます。
- きつく巻きつけると、電源コードが傷つくおそれがあります。ご注意ください。

3 **「カチッ」と音がするまでコアフィルターを閉じる**

電源コードの接続

- 電源コードは、すべての接続が終わってから差し込んでください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜き、安全と節電に心がけてください。
- 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が1分以上続くと、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら設定し直してください。
- 形状違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードは、本機以外には使用しないでください。

基本操作

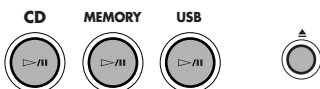
本書の見かた

主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

電源を入れる/切る

電源（または本体の⏻/I）を押す

- 電源が「切」の状態で、次のいずれかを押したときも電源が入ります。

リモコン：

本体：

▲ 以外を押したときはソース（音源）も切換わります。CDが入っているとき、内蔵メモリーに再生できるデータが入っているとき、USB機器やiPodが接続されているときは再生がはじまります。
- USB機器が接続されている場合、CD、MEMORY、USBの再生開始まで時間がかかる場合があります。

時計を合わせる

電源が「入/切」どちらの状態でも操作できます。

1 **時計/タイマー を押す**

0:00 Sun

2 **►►I または I◄◄ で「時」を合わせてから セット を押し、►►I または I◄◄ で「分」を合わせてから セット を押す**

- 押したままにすると連続して変わります。
- 「時」を合わせてから セット を押すと、点滅が「分」に移動します。
- 数字ボタンも使えます。
  下の「数字ボタンの使い方」をご覧ください。

3 **►►I または I◄◄ で「曜日」を合わせてから セット を押す**

曜日表示：
Sun →日曜日、Mon →月曜日、
Tue →火曜日、Wed →水曜日、
Thu →木曜日、Fri →金曜日、
Sat →土曜日

- 合わせた「分」の0秒から時計が動きはじめます。

お知らせ
- 操作の途中で キャンセル を押すと前の手順に戻れます。

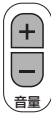
時計を合わせ直すには

時計/タイマー を4回押して時計を表示させ、手順2から操作します。

お知らせ
- 本機の時計は24時間表示です。
- 月に1分程度のズレを生じます。
- 電源コードを抜いたり停電があったときは、時計を設定し直してください。

数字ボタンの使い方

例：3：③
20：≧10 → 2 → 0
23：≧10 → 2 → 3
100：≧10 → ≧10 → 1 → 0 → 0

音量を調節する

を押す

- 本体のVOLUMEつまみを回しても調節できます。
- VOLUME 0～40の範囲で調節できます。

一時的に消音する

を押す

- 「FADE MUTING」と点滅表示され、音量が「0」になります。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。

重低音を強調する

AHB PRO **を押す**

- 押すごとにON/OFFが切換わります。
- 「ON」のときは表示窓にAHB PRO表示が表示されます。
- AHB PROは、Active Hyper Bass PROの略です。

音質を調節する

1 低音/高音 **をくり返し押して「BASS」(低音の調節)または「TREBLE」(高音の調節)を表示させる**

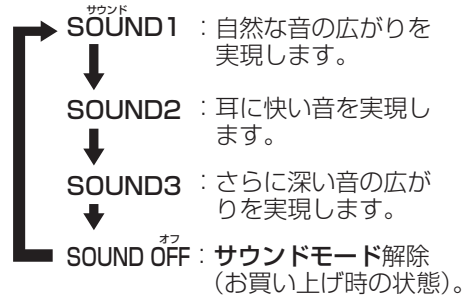
2 **表示窓に「BASS」または「TREBLE」が表示されている間に、音量 を押して音質を調節する**

- −5～+5の範囲で調節できます。
- 数秒後に自動で元のソース(音源)表示に戻ります。

サウンドモード

サウンドモード **を押す**

- 押すごとに次のように切換わります。

SOUND1 ：自然な音の広がりを実現します。
↓
SOUND2 ：耳に快い音を実現します。
↓
SOUND3 ：さらに深い音の広がりを実現します。
↓
SOUND OFF：**サウンドモード**解除(お買い上げ時の状態)。

- サウンドモードが「SOUND OFF」以外のとき、表示窓にSOUND1(または2、3)が表示されます。

お知らせ
- サウンドモードは、録音される音には影響しません。

ラジオを聞く

FM放送またはAM放送を受信することができます。

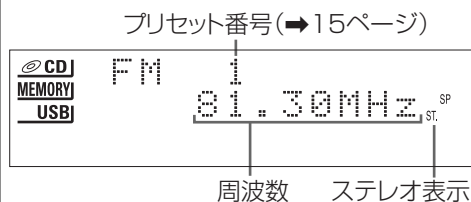
放送局を選ぶ

1 FM/AM /AUX を押して「FM」または「AM」を選ぶ

例：FM放送を受信中の表示

プリセット番号（➡15ページ）

CD MEMORY USB　FM 1　81.30MHz　SP ST.

周波数　ステレオ表示

2 ▶▶I または I◀◀ をくり返し押して、聞きたい放送局（周波数）を選ぶ

- オート（自動）選局（下記）もできます。

オート（自動）選局

▶▶I または I◀◀ を押し続け、周波数が変わりはじめたら指を離します。
放送を受信すると自動で止まります。

途中で止めたいときは、▶▶I または I◀◀ を押します。

- FMステレオ放送を受信すると、ST.（ステレオ）表示が点灯します。

FMモードの切換え

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、再生/FMモードを押し、音声をモノラルにする（MONO表示が点灯）と、聞きやすくなることがあります。

もう一度 再生/FMモード を押すとステレオ受信に戻ります。

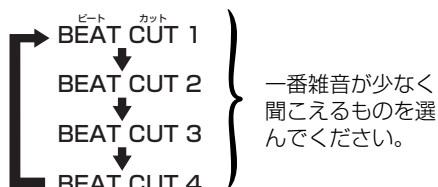
AM放送の雑音が大きいとき

AM放送が雑音で聞きにくいとき、再生/FMモードを押すと、雑音が軽減できます。

押すごとに次のように変わります。

一番雑音が少なく聞こえるものを選んでください。

お知らせ

- 本機は、テレビ1ch：95.75 MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75 MHzの音声を受信することができます。
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

放送局を記憶させる（プリセット）

FM放送は最大30局、AM放送は最大15局まで、それぞれ記憶させることができます。

オート（自動）プリセット

FM放送とAM放送それぞれについて操作してください。

■ FM放送またはAM放送を受信中に

オートプリセット/ワラン 0 を「AUTO PRESET」が表示されるまで長押しする

- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 新しく記憶された放送局は上書きされます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶された放送局が受信されます。

お知らせ

- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。このようなときはマニュアルプリセットで選び直してください。

マニュアル（手動）プリセット

放送局を1つずつ記憶させます。

■ プリセットしたい放送局を受信中に

1 **セット を押す**

プリセット番号が約5秒間点滅します。

2 **プリセット番号が点滅している間に、数字ボタン（1～10、0、≧10）を押して記憶させたい番号を選ぶ**

- 「数字ボタンの使い方」（➡12ページ）をご覧ください。

3 **選んだ番号が点滅している間に セット を押す**

「STORED（ストアード）」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ

- FMモード（➡14ページ）も記憶されます。
- 同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局に上書きされます。

放送局を呼び出す（プリセット選局）

■ FMまたはAMを受信中に

数字ボタンで、呼び出したい放送局のプリセット番号を選ぶ

「数字ボタンの使い方」（➡12ページ）をご覧ください。

放送局名を入力する

プリセット選局で記憶した放送局に、最大8文字の局名をつけることができます。

1 **放送局名を入力したい放送局をプリセット選局する**

2 **タイトル/編集 を押す**

3 **表示/文字 と数字ボタン（1～10、0、≧10）で局名を入力する**

- 入力方法は「タイトル入力のしかた」（➡45ページ）をご覧ください。

4 **決定 を押す**

- 「STORED」と表示され、入力した局名が登録されます。

お知らせ

- 放送局名を入力したあと、あらためてオートプリセットやマニュアルプリセットを行うと、局名は削除されます。
- オート選局やマニュアル選局で聞いているときは、放送局名を入力できません。

聞く

再生する前に

CD（ディスク）について

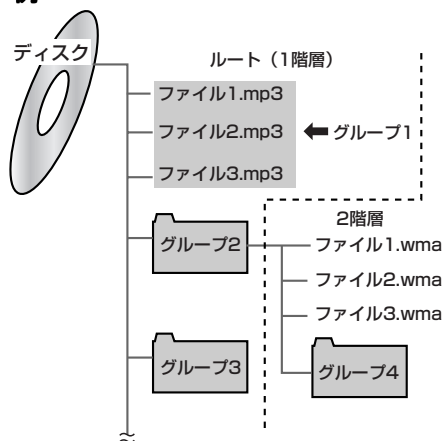
■ 本機で再生できるディスク

本機では、次のディスクが再生できます。

- 音楽CD
- MP3/WMAファイルが収録されている CD-R/RW、DVD-R/RW

■ MP3/WMAファイルが収録されているCD-R/RW、DVD-R/RWのフォルダ表示について

本書では、CD-R/RWやDVD-R/RW内のフォルダを「**グループ**」と呼びます。
本機表示窓では、「G　**(グループ番号)**」で表示されます。
グループ分けは次のようになります。

例:

- 本機では、ルート（1階層）の音声ファイルは**グループ1**として扱います。
- 空のフォルダや再生できるファイルの入っていないフォルダもグループとして数えられます。ただし、グループ番号は飛ばして表示されます。
  例: グループ3が空のとき
  グループ1 →グループ2 →グループ4 → …と表示されます。

■ ファイル(曲)名表示について

本機で表示できる半角カタカナ、半角英数字、記号以外の文字がファイル(曲)名に含まれているときは、ファイル(曲)名は表示されません。

- 本機で表示できる文字と記号には、「タイトル入力に使える文字（本機で表示できる文字）」(➡45ページ)をご覧ください。

本機で再生できるディスクとファイルの詳細については、「ディスクとファイルについて」(➡54ページ)をご覧ください。

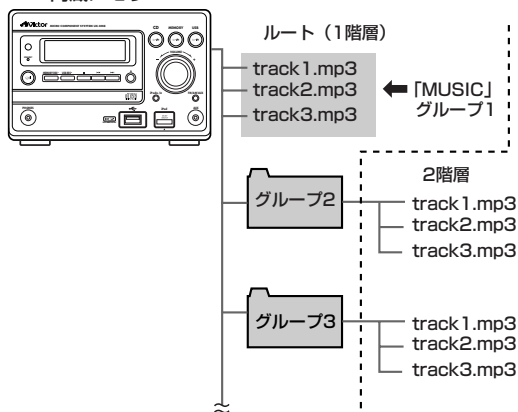
内蔵メモリーについて

■ 内蔵メモリーが対応しているファイル形式

本機内蔵メモリーは、MP3、WMA、WAV（リニアPCM)形式のファイルの再生に対応しています。

■ 内蔵メモリーのグループ表示について

内蔵メモリーのグループ分けは次のようになります。

例:

- 内蔵メモリーのルート(1階層)の音声ファイルは「**MUSIC**」**グループ1**として扱います。
- 転送(➡36ページ)や編集(➡41～43ページ)によって空になったグループもグループとして数えられます。ただし、再生のときはグループ番号は飛ばして表示されます。
  例: グループ3が空のとき
  グループ1 →グループ2 →グループ4 → …と表示されます。
  ー 録音/転送のときは、録音/転送先のグループとして選ぶことができます。

■ ファイル(曲)名表示について

USB機器から転送されたファイル(曲)のファイル(曲)名は保持されますが、本機で表示できる半角カタカナ、半角英数字、記号以外の文字は、空白(スペース)で表示されます。ただし、空白(スペース)の次に表示できる文字が無いときは、空白(スペース)は表示されません。

- 本機で表示できる文字と記号は、「タイトル入力に使える文字（本機で表示できる文字）」(➡45ページ)をご覧ください。

ファイルの詳細については、「内蔵メモリーとUSB機器について」(➡55ページ)をご覧ください。

USB機器について

■ 本機に接続できるUSB機器

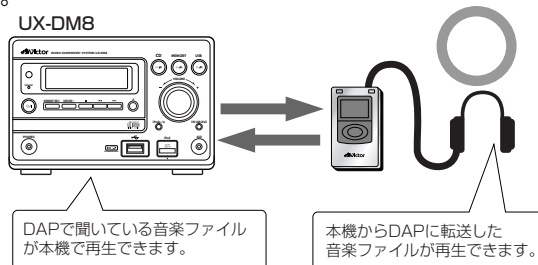
USBマスストレージ規格(MSC)に対応したUSBフラッシュメモリーまたはデジタルオーディオプレーヤーなどが接続できます。

■ 対応しているファイル形式

MP3、WMA、WAV(リニアPCM、MSCのときのみ)形式のファイルの再生に対応しています。

■ USB接続するデジタルオーディオプレーヤー(以下DAP)について

次のDAPの場合、DAPで聞いている音楽ファイルを本機で再生したり、本機からDAPに転送した音楽ファイルをDAPで再生したりすることができます。

- **USBデジタルメディアストリーミングに対応したDAP**
- **USBマスストレージ規格(MSC)に対応し、Microsoft® Windows® Media Playerで音楽ファイルを転送できるDAP**
  — すべてのDAPについて動作を保証するものではありません。
  — XA-C210/XA-C110/XA-C51、XA-C109/XA-C59を接続して操作するときは、「XA-Cシリーズを使う」(➡32ページ)もご覧ください。

当社対応モデル(2007年2月現在)

モデル名	DAPの対応USB形式	本機のUSBモード			
		AUTO		MSC	
		USB接続形式	再生可能ファイル	USB接続形式	再生可能ファイル
XA-C210/XA-C110/XA-C51 *1	MTP (USBデジタルメディアストリーミング)*2/MSC	MTP	MP3/WMA/WMA-DRM	MSC	MP3/WMA/WAV
XA-C109XA-C59	MTP/MSC	MTP	MP3/WMA	MSC	MP3/WMA/WAV
XA-F112/XA-F52、XA-E105/XA-E103/XA-E55/XA-E33、XA-MP101/XA-MP51、XA-MP100/XA-MP50/XA-MP20	MSC	**USB接続形式**:MSC **再生可能ファイル**:MP3/WMA/WAV			

当社製XA-HD500、XA-AL55には対応していません。

＊1 XA-C210/XA-C110/XA-C51のUSBモードがAUTOのとき

＊2 MTP:
MTP(Media Transfer Protocol)(メディア トランスファー プロトコル)とは、デジタルオーディオプレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話、ビデオプレーヤーなどのポータブル機器とWindows®パソコンを接続し、音楽/静止画/動画などのデータを双方向に転送するためのプロトコル。
USBデジタルメディアストリーミング:
MTPで接続したときにWMA、WMA-DRM、MP3のストリーミング再生に対応した機能です。従来のMSCで接続したときにはできなかった、音楽配信サイトからダウンロードした著作権保護付きのWMA-DRMファイルをUSBホストから再生することを可能にしています。

Microsoft® Windows® Media Player以外の楽曲管理ソフトを使用するDAPについては、「専用の楽曲管理ソフトを使用するDAPのとき」(➡58ページ)をご覧ください。

他社製品の動作確認済みモデルについては、ホームページ(http://www.jvc-victor.co.jp/support/qa.html)をご覧ください。

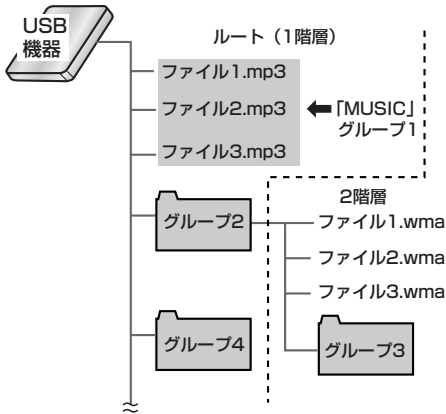
18ページに続く

再生する

USB機器について（つづき）

■ USB機器のグループ表示について

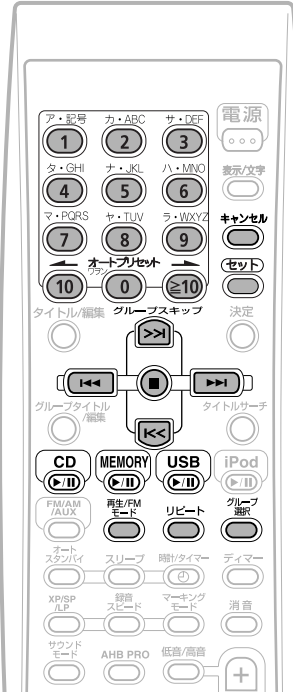
本書では、USB機器内のフォルダを「**グループ**」と呼びます。
本機表示窓では、「G　**（グループ番号）**」で表示されます。
グループ分けは次のようになります。

例：

- 本機では、ルート（1階層）の音声ファイルは**グループ1**として扱います。
- 本機のグループ番号表示と階層の深さは、一致するものではありません。
- 空のフォルダや再生できるファイルの入っていないフォルダもグループとして数えられます。ただし、再生のときは、グループ番号は飛ばして表示されます。
  例：グループ3が空のとき
  グループ1 →グループ2 →グループ4 →…と表示されます。
  ー 録音/転送のときは、録音/転送先のグループとして選ぶことができます。

■ ファイル（曲）名表示について

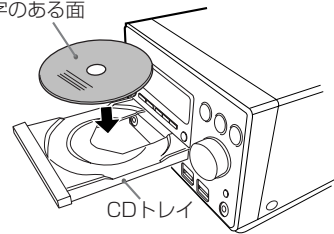
本機で表示できる半角カタカナ、半角英数字、記号以外の文字がファイル（曲）名に含まれているときは、空白（スペース）で表示されます。ただし、空白（スペース）の次に表示できる文字が無いときは、空白（スペース）は表示されません。

- 本機で表示できる文字と記号は、「タイトル入力に使える文字（本機で表示できる文字）」（➡45ページ）をご覧ください。

ファイルの詳細については、「内蔵メモリーとUSB機器について」（➡55ページ）をご覧ください。

CDを聞く

1　本体の ⏏ を押す

- CDトレイが出ます。

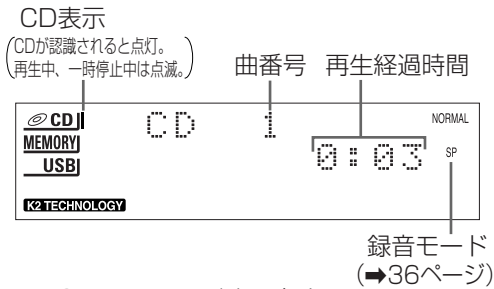
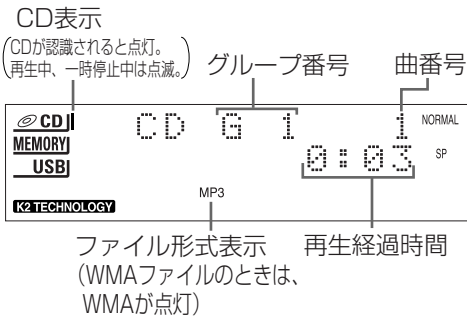
2　CDをCDトレイに置く

- 8センチCDは内側の凹部に置きます。

3　CD（►/❚❚）を押す

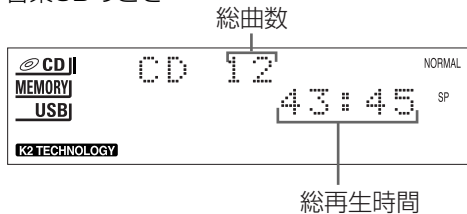
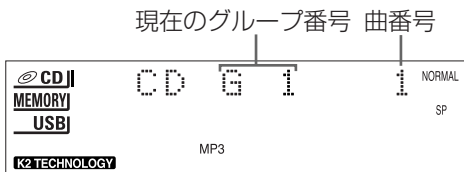
本機で再生できるディスクの種類、フォーマット、ファイル形式などについて詳しくは、「ディスクとファイルについて」（➡54ページ）をご覧ください。

CDの表示窓

■ 再生中の表示

音楽CDのとき：

MP3/WMAファイルのとき：

- 曲タイトル（ファイル名）が最初に表示されます。
- 本機で表示できる半角カタカナ、半角英数字、記号以外の文字が含まれているときは、表示されません（➡16ページ）。

■ 停止中の表示

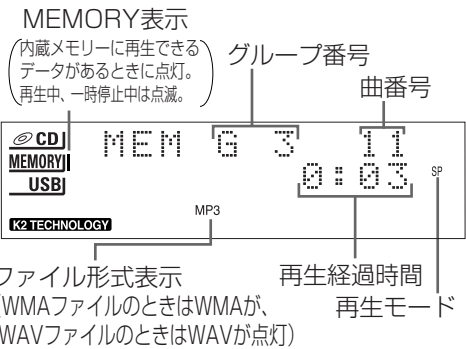
音楽CDのとき：

MP3/WMAファイルのとき：

内蔵メモリーの音声を聞く

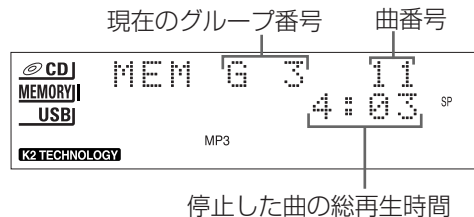
■ 本機には、1GBの内蔵メモリーが搭載されています。
内蔵メモリーには、あらかじめ曲を録音しておいてください。
録音のしかたは、36ページをご覧ください。

MEMORY（▶/II）を押す

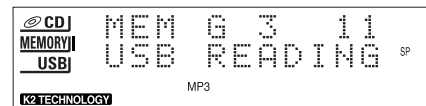
- 前回再生していた曲、または停止した曲の頭から再生がはじまります。

内蔵メモリーの表示窓

■ 再生中の表示

- 曲タイトルが最初に表示されたあと、再生経過時間が表示されます。

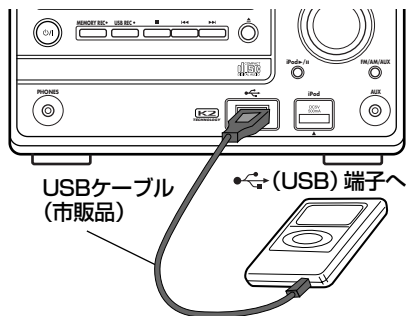
■ 停止中の表示

お知らせ

- USB機器の読み込み中は、内蔵メモリーの再生をはじめることはできません。USB機器の読み込みが終了してから再生してください。

USB機器の読み込み中の表示

聞く

USB機器の音声を聞く

1 USB機器を接続する

(USB)端子にデジタルオーディオプレーヤーまたはUSBフラッシュメモリーを接続します。
本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

- USB機器は、本機に直接接続してください。ハブを使った接続はしないでください。

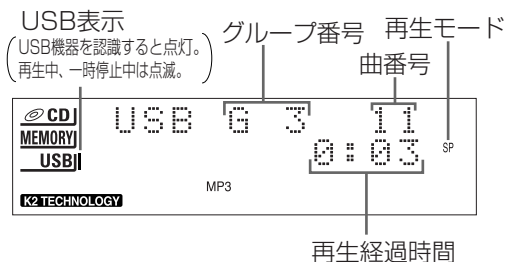
2 USB (▶/II) を押す

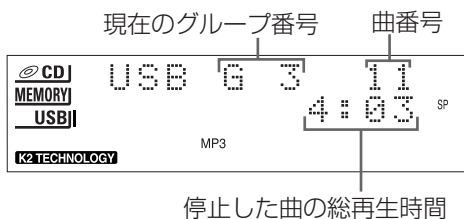
- 再生していた曲、または停止した曲の頭から再生がはじまります。
- USB機器を読み込み中は、「USB READING」と表示され、読み込みが終わると再生がはじまります。

USB機器の接続について

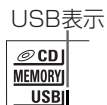
- USBカードリーダー、USBハブには、対応していません。
- **(USB)端子はパソコンと接続できません。**
- **(USB)端子にiPodは接続できません。**
- **当社製デジタルオーディオプレーヤー（別売り）XA-Cシリーズをお使いのときは、「XA-Cシリーズを使う」（➡32ページ）もあわせてご覧ください。**
- 内蔵メモリーが再生中は、USB機器を接続しても認識されません。内蔵メモリーの再生が終わるとUSB機器の読み込みがはじまります。

USB機器の表示窓

■ 再生中の表示

- 曲タイトルが最初に表示されたあと、再生経過時間が表示されます。
- 本機で表示できる半角カタカナ、半角英数字、記号以外の文字が含まれているときは、正しく表示されません（➡18ページ）。

■ 停止中の表示

USB機器への充電機能について

- 本機の電源が「入」のとき、接続しているUSB機器に電源が供給されます。
ただし、ソース（音源）が「**iPod**」のときは、USB機器に電源は供給されません。
このとき、表示窓のUSB表示は消灯します。

USB表示
CD
MEMORY
USB

ご注意

- 本機とデジタルオーディオプレーヤーなどを接続して使用しているとき、デジタルオーディオプレーヤーなどのデータが消失あるいは損傷した場合、当社は一切責任を負いかねます。
- 大切なデータやファイルなどは、パソコンにバックアップを取っておいてください。
- すべてのUSBマスストレージ規格対応の機器に対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB機器は、本機またはUSB機器が再生中、録音中、編集中に取りはずさないでください。再生中、録音中、編集中に取りはずすと、故障や不具合の原因となります。

その他の操作

	操　作
停止する	(■) を押す。
一時停止する	再生中に(CD ▶/II)、(MEMORY ▶/II)、(USB ▶/II) を押す。もう一度押すと再生を再開します。
頭出し（スキップ）	(⏮)：(⏭)：くり返し押す。
早送り・早戻し（サーチ）	(⏮)：(⏭)：再生中に押したままにする。 • USB接続しているデジタルオーディオプレーヤーによっては、早送り・早戻しの操作ができないものがあります。
CDを取り出す	本体の (⏏) を押す。
USB機器を取りはずす	本機の動作が停止していることを確認してからはずしてください。 ビクター製デジタルオーディオプレーヤー（別売り）XA-Cシリーズをお使いのときは、34ページをご覧ください。

聞きたい曲を指定する（ダイレクト選曲）

聞きたい曲の曲番号を数字ボタン

（(1)～(10)、(0)、(≧10)）で選ぶ

• 「数字ボタンの使い方」（➡12ページ）をご覧ください。

聞きたいグループから再生する

■ MP3/WMAが収録されているCDまたはDVD
内蔵メモリー
USB機器
のとき操作できます。
• 選んだグループの最初の曲から再生されます。

再生中に (>>I) または (I<<) を押す

または

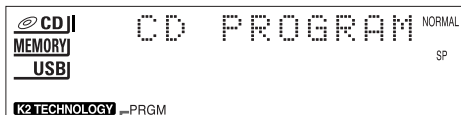
(グループ選択) を押してから5秒以内に聞きたいグループを数字ボタン（(1)～(10)、(0)、(≧10)）で選ぶ

• 「数字ボタンの使い方」（➡12ページ）をご覧ください。

CDのプログラム再生

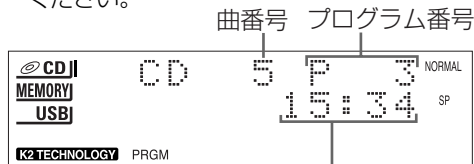
99曲までプログラムに登録して聞くことができます。

1 (CD ▶/II) ➡ (■) を押す

2 (再生/FMモード) を押して「PROGRAM」を選ぶ

CD PROGRAM
PRGM表示

• すでにプログラムされているときは、曲番号、プログラム番号、プログラムの総再生時間が表示されます。

3 数字ボタン（(1)～(10)、(0)、(≧10)）で曲番号を選ぶ

• 「数字ボタンの使い方」（➡12ページ）をご覧ください。

MP3/WMAのとき

数字ボタンでグループ番号を選んでから、曲番号を選びます。

• プログラムの総再生時間は、表示されません。

4 (CD ▶/II) を押す

お知らせ

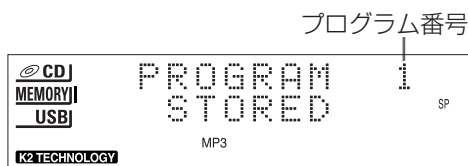
• CD、内蔵メモリー、USB機器の曲を組み合わせたプログラム再生はできません。
• 100曲目をプログラムしようとすると「PROGRAM FULL」と表示され、それ以上はプログラムできません。
• プログラムした曲を削除するときは、「プログラムした曲を削除する」（➡22ページ）をご覧ください。

内蔵メモリー/USB機器のプログラム再生

最大999曲までプログラムに登録して聞くことができます。

プログラム再生する曲を登録する

登録したい曲を再生中または停止中に、セットを押す

- 押した順にプログラムに登録されます。
- プログラム再生中、ランダム再生中、ランダムグループ再生中、グループ再生中は、登録されません。

プログラム再生する

1 **内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II ➡ ■を押す**

USB機器のとき:USB ▶/II ➡ ■を押す

2 **再生/FMモードを押して「PROGRAM」を選ぶ**

例:内蔵メモリーのとき

- 登録されている曲が無いときは、「MEM(またはUSB) PROGRAM」と表示されます。曲を登録してください。

3 **内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II を押す**

USB機器のとき:USB ▶/II を押す

プログラム再生での他の操作

プログラムした内容を確認する

停止中に|◀◀または▶▶|をくり返し押す

- CDの場合、ここでプログラムを(最後の曲として)追加することもできます「CDのプログラム再生」(➡21ページ)手順3参照。

プログラム再生を解除するには

停止中に再生/FMモードをくり返し押して「PROGRAM」以外を選ぶ

- プログラムした内容は削除されません。

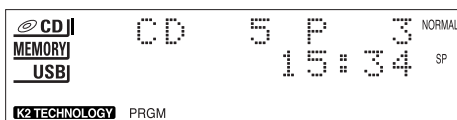
プログラムした曲を削除する

停止中にキャンセルを押す

- プログラムの最後の曲が削除されます。

プログラムした内容をすべて削除するには

停止中にキャンセルを長押しする

例:音楽CDのとき

お知らせ

内蔵メモリー/USB機器のプログラム再生のおしらせ

- 1000曲目を登録しようとすると「PROGRAM FULL」と表示され、それ以上はプログラムできません。

プログラム再生での他の操作のお知らせ

- 電源を「切」にするとプログラムした内容が削除され、プログラム再生も解除されます。
- CDを取り出すと、CDのプログラム内容が削除され、プログラム再生も解除されます。
- ソース(音源)を「iPod」に変えると、USB機器のプログラム内容が削除されます。
- USB機器を取りはずすと、USBのプログラムした内容が削除され、プログラム再生も解除されます。

ランダム再生

ランダム(無作為)な順序で再生することができます。

1 **CDのとき:CD ▶/II ➡ ■を押す**

内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II ➡ ■を押す

USB機器のとき:USB ▶/II ➡ ■を押す

2 **再生/FMモード をくり返し押して**

「RANDOM(ランダム)」を選ぶ

例:CDのランダム再生のとき

RND表示

3 **CDのとき:CD ▶/II を押す**

内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II を押す

USB機器のとき:USB ▶/II を押す

ランダム再生を解除するには

停止中に再生/FMモード をくり返し押して「RANDOM」以外を表示させる

お知らせ

- ランダム再生およびグループランダム再生では、⏮を押すと再生中の曲の頭に戻りますが、⏮をくり返し押しても前の曲には戻れません。
- ソース(音源)を「iPod」にすると、USB機器のランダム再生およびグループランダム再生は解除されます。

ランダム再生のお知らせ

- CD、内蔵メモリー、USB機器の曲を組み合わせたランダム再生はできません。
- 一度再生した曲は、再び選曲されません。
- 電源を「切」にする、CDを取り出す、USB機器を取りはずす操作をすると、ランダム再生は解除されます。

グループランダム再生のお知らせ

- 一度再生した曲は、再び選曲されません。
- 電源を「切」にする、またはUSB機器を取りはずすと、グループランダム再生は解除されます。

グループランダム再生

選んだグループ内の曲をランダム(無作為)な順序で再生することができます。

■ 内蔵メモリー、
USB機器、
のとき操作できます。

1 **内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II ➡ ■を押す**

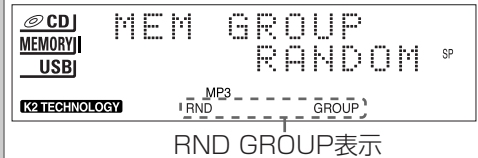
USB機器のとき:USB ▶/II ➡ ■を押す

2 **再生/FMモード をくり返し押して「GROUP RANDOM」を選ぶ**

例:内蔵メモリーのとき

CD / MEMORY / USB　MEM GROUP RANDOM　SP　K2 TECHNOLOGY　MP3　RND　GROUP

RND GROUP表示

3 **内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II を押す**

USB機器のとき:USB ▶/II を押す

- 停止中のグループ内の曲のランダム再生がはじまります。

4 **グループスキップ >>I または I<< を押して、ランダム再生するグループを選ぶ**

- 選んだグループ内の曲がすべて再生されると自動的に停止します。
- グループを選ぶときは、グループスキップ >>I または I<< を押してグループを選んでください。

グループランダム再生を解除するには

停止中に再生/FMモード をくり返し押して「GROUP RANDOM」以外を表示させる

聞く

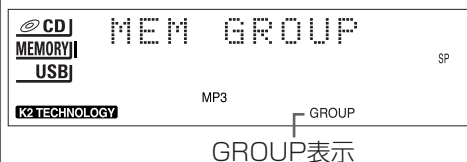
グループ再生

お好みのグループだけを再生できます。
■ 内蔵メモリー、
USB機器、
のとき操作できます。

1 **内蔵メモリーのとき：MEMORY ▶/II ➡ ■を押す**
USB機器のとき：USB ▶/II ➡ ■を押す

2 **再生/FMモード をくり返し押して「GROUP」を選ぶ**

例：内蔵メモリーのとき

GROUP表示

3 **内蔵メモリーのとき：MEMORY ▶/II を押す**
USB機器のとき：USB ▶/II を押す

- 停止中のグループの先頭の曲から再生がはじまります。

4 **グループスキップ >>I または I<< を押して、聞きたいグループを選ぶ**

- 選んだグループ内の曲がすべて再生されると自動的に停止します。
- グループを選ぶときは、グループスキップ >>I または I<< を押してグループを選んでください。

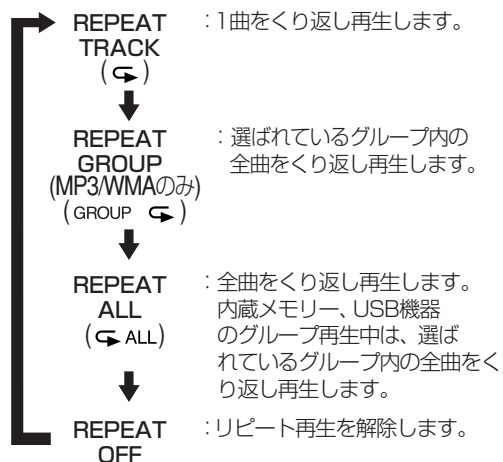
グループ再生を解除するには

停止中に再生/FMモード をくり返し押して、「GROUP」以外を選ぶ

リピート再生

聞きたい曲をくり返し再生することができます。

リピート をくり返し押してリピートモードを選ぶ

- 押すごとに、次のように切換わります。

例：REPEAT ALLのとき

リピートモード表示

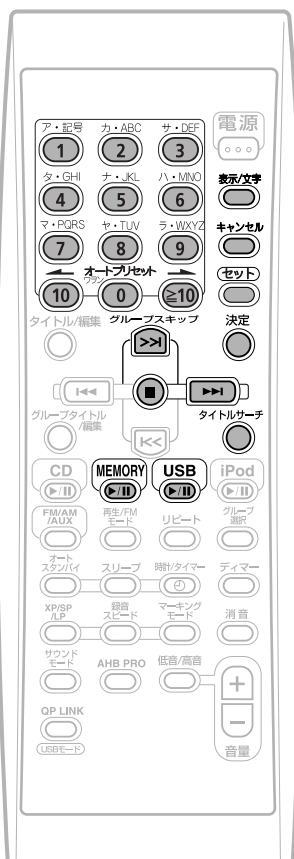
お知らせ

グループ再生のお知らせ
- 電源を「**切**」にする、またはUSB機器を取りはずすと、グループ再生は解除されます。
- ソース（音源）を「**iPod**」にすると、USB機器のグループ再生は解除されます。

リピート再生のお知らせ
- 次の場合もリピート再生が解除されます。
  - 電源を「**切**」にする。
  - CDを取り出す→CDのリピート再生が解除されます。
  - 内蔵メモリーまたはUSB機器のいずれかで編集操作をする
    →内蔵メモリーとUSB機器のリピート再生が解除されます。
  - ソース（音源）を「**iPod**」にすると、USB機器のリピート再生が解除されます。

タイトルサーチ

内蔵メモリー、USB機器の曲やグループのタイトルをサーチ(検索)し、再生できます(CDはタイトルサーチができません)。

1 **内蔵メモリーのとき:**MEMORY ▶/II ➡ ■ **を押す**

USB機器のとき:USB ▶/II ➡ ■ **を押す**

2 タイトルサーチ **をくり返し押して、サーチの種類を選ぶ**

TRACK T SEARCH :曲のタイトルでサーチします。

Title(タイトル)の略です

⬍

GROUP T SEARCH :グループのタイトルでサーチします。

3 セット **を押す**

例:内蔵メモリーの曲のタイトルサーチのとき

グループタイトルサーチのときはGR. SEARCHと表示されます。

4 **数字ボタンを押してタイトルを入力する**

- 最初の1～5文字まで入力します。
  例:「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に検索します。
  「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に検索します。
- 文字の入力方法は「タイトル入力のしかた」(➡45ページ)をご覧ください。
- 空白(スペース)も文字として扱われますが、空白(スペース)の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。

5 決定 **を押す**

- 「SEARCH」と表示され、タイトルサーチがはじまります。曲が見つかると再生がはじまります。再生が終わると自動で次のタイトルサーチがはじまります。
- 曲が見つからないときは「SEARCH END」と表示されます。

次の曲(またはグループ)をサーチする

▶▶I **(または** グループスキップ >>I **)を押す**

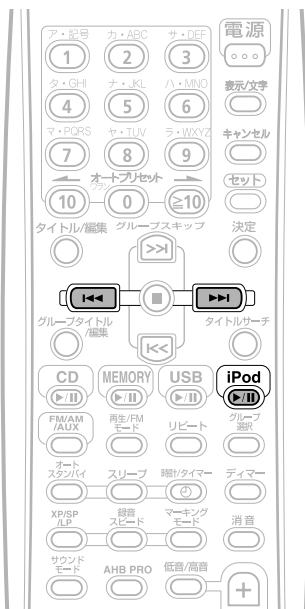
タイトルサーチをやめる

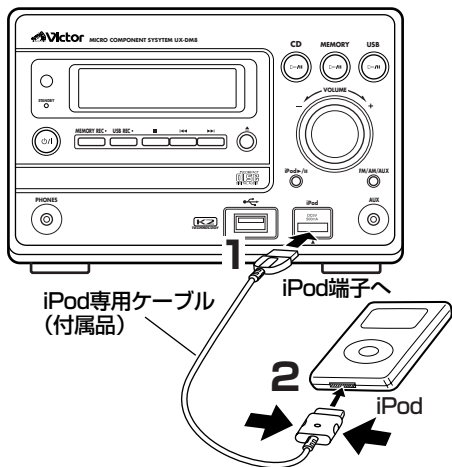
タイトルサーチ **を押す**

お知らせ

- プログラム再生、ランダム再生、グループランダム再生、グループ再生、リピート再生のときに タイトルサーチ を押すと、すべて解除され、通常再生になります。

聞く

iPodの音を聞く

iPodからの音声を聞くときの接続

本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。
本機に付属のiPod専用ケーブルを使って接続します。

1 本機のiPod端子にiPod専用ケーブル(付属品)を接続する
コネクターの矢印を下(本機のiPod端子の▲側)にして接続します。

2 iPodにiPod専用ケーブル(付属品)を接続する
コネクターの横にあるボタンを押しながらiPodに差し込んでください。

- iPod専用ケーブルをiPodに接続するときは、正しい方向に奥まで差し込んでください。

iPodの音声を聞く

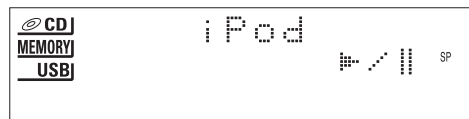
本機前面のiPod端子に接続したiPodの音声を聞きます。

を押す

- 前回再生していた曲の停止位置から再生がはじまります。

iPod接続中の表示窓

■ iPodが接続されているときの表示

■ iPod ▶/II を押したときの表示

- 数秒後にiPodが接続されているときの表示に戻ります。

■ iPodが接続されていないときの表示

■ iPod対応機種

本機は次の種類のiPodに対応しています。

iPod対応機種
iPod nano 1GB/2GB/4GB
iPod nano(第2世代)2GB/4GB/8GB
iPod mini 4GB/6GB
iPod (第4世代)20GB/40GB
iPod photo(第4世代) 20GB/30GB/40GB/60GB
iPod video(第5世代)30GB/60GB/80GB

iPodのソフトウェアのバージョンが古いときは正常に動作しない場合があります。
そのようなときはアップデートを行なってください。

- 詳しくはApple Computer, Inc.のWebサイト
<http://www.apple.com/jp/>
をご覧ください。

その他の操作

	操　作	表示
一時停止する	再生中に iPod ▶/II を押す。 もう一度押すと再生を再開します。 ・長押しするとスリープモードに入ります。	▶/II
頭出し（スキップ）	⏮： ⏭：　くり返し押す。	⏭ ⏮
早送り・早戻し（サーチ）	⏮： ⏭：　再生中に押したままにする。	⏭ ⏮
iPodを取りはずす	本機の電源を「切」にしてから、はずしてください。	—

ご注意

- iPodは、本機またはiPodが再生中に取りはずさないでください。再生中に取りはずすと、故障や不具合の原因となります。

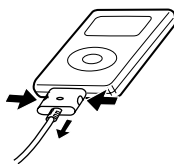
iPodを使用時のご注意

- 本機からiPodにデータを送ることはできません。
- 本機付属のiPod専用ケーブルでiPodを接続すると、次の場合に自動で充電されます。
  - 電源「**入**」で本機のソース（音源）が**iPod**のとき
  - 電源「**切**」で時計が表示されているとき（ディマー機能を「**DISPLAY OFF**」（表示窓消灯）に設定しているときは、充電されません）

  充電時間についてはiPodの取扱説明書をご覧ください。

本機のiPod端子の上に書かれているDC5V/500mAは、iPod充電時の供給電圧と最大供給電流です。

- iPodのイコライザーを使用しているときに、録音レベルが高い曲を再生すると、音がひずむことがあります。
  iPodのイコライザーは使用しないでください。
  iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。
- iPodを使用しないとき、本機を移動するときは、iPodおよびiPod専用ケーブルをはずしておいてください、落としてiPodや本機のコネクター部分が故障する原因になります。
- コネクターの端子部分に直接さわったり物を当てたりしないでください。破損の原因となります。

iPodの取りはずし

- 本機の電源を「**切**」にしてから、はずしてください。
- iPodをはずすときはコネクターの横のボタンを押しながらはずしてください。

■ iPodが操作できないときは

本機に対応していないiPodを本機に接続すると、操作できないことがあります。本機の充電モードをオフにすると操作ができるようになる場合があります。

充電モードをオフにする

① **iPod ▶/II を押してソース（音源）をiPodにする**

② **本体の ▭ を2秒以上長押しする**
- 現在の充電モード「**ON**」（オン）が表示されます。

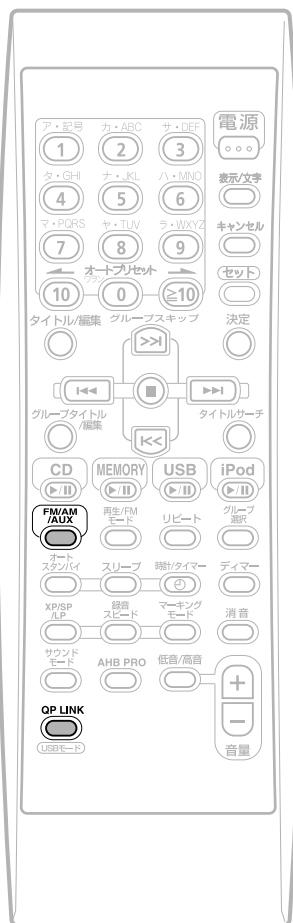
③ **本体の ▭ を押して充電モードを「OFF」（オフ）にする**
- 充電モードがオフのときは、本機の電源を「**入**」にしても、iPodの電源が入らない場合があります。
- 充電モードがオフのときは、iPodには充電されません。
- 充電モードをオンにするときは、上記の操作をして、③で「**ON**」（オン）を選びます。
- iPodの操作に問題がないとき、通常はオンのままお使いください。

本機の故障または、不具合などにより再生において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。
大切なデータはパソコン等にバックアップを取っておくことをお勧めします。

iPodは米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。

AUXに接続した機器の音声を聞く

AUXからの音声を聞くときの接続

本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

AUXに接続した機器の音声を聞く

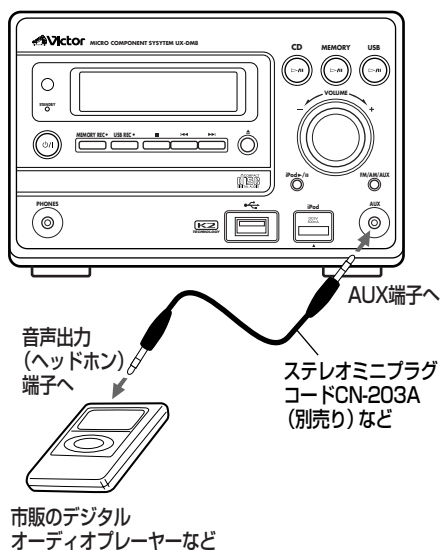
1 FM/AM /AUX をくり返し押して「AUX」を選ぶ

2 AUXに接続した機器を再生する

- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

本機のAUX端子に接続した機器からの音声信号が入力されると、泡がふくらむような動きで表示されます。

3 本機の音量などを調節する

- 調節方法は「基本操作」(➡12ページ)をご覧ください。

AUX端子の音声入力レベルを調節する

本機のAUX端子に接続した機器からの音声入力レベルを、本機で調節することができます。

■ ソース(音源)がAUXのとき操作します。

入力レベルが表示されるまで セット を長押しする

- 長押しするごとに、次のように切換わります。

LEVEL1 : LEVEL2でも音声入力レベルが大きいときに選びます

↓

LEVEL2 : LEVEL3で音声入力レベルが大きいときに選びます。

↓

LEVEL3 : 通常はこちらでお使いください。(お買い上げ時の設定)

QP LINK機能を使う

QP LINK(Quick Portable Link)機能を使うと、AUX端子に接続した機器を再生するだけで、本機で聞くことができます。

■ QP LINK機能のオン/オフ

QP LINK を押す

- 押すごとに、「**QP LINK ON**(オン)」(お買い上げ時の設定)または「**QP LINK OFF**(オフ)」に切換わります。
- 「**QP LINK ON**」でQP LINK機能が動作可能なとき、表示窓の**QP LINK**が点灯します。

QP LINK機能がオンのとき、AUX端子に他の機器を接続し、再生をはじめると、自動的に本機のソース(音源)が「AUX」に変わり、他の接続機器の音声を聞くことができます。本機の電源が「切」のときは、「入」になります。

QP LINK表示

- 他の接続機器からの音声信号が小さいときは、QP LINK機能がはたらかないことがあります。このようなときは、他の接続機器の音量を上げてください。
- QP LINK機能でデジタルオーディオプレーヤーからの音声を聞いているとき、他のソース(音源)を選ぶと、QP LINK機能が解除されます。このとき、他の接続機器をAUX端子から抜き差しすると、再度QP LINK機能がオンになります。
- QP LINK機能で他の接続機器からの音声を聞いているとき、電源を「**切**」にすると(タイマー機能による電源「**切**」も含む)、QP LINK機能は、一時的に解除されます。
  30秒以上他の接続機器からの音声信号の入力がないと、再度QP LINK機能がオンになります。
- QP LINK機能がオンのときに、AUX端子の抜き差しを行うと、ソース(音源)が「**AUX**」に変わることがありますが、故障ではありません。

- 次の場合、QP LINK機能は動作しません。
  - 録音中
  - タイマー録音中
  - 電源「**切**」で、ディマー機能を「**DISPLAY OFF**」(表示窓消灯)に設定しているとき

表示窓の表示を変える

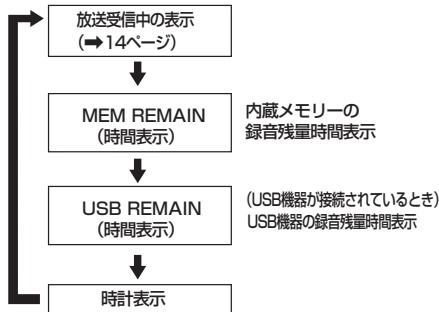
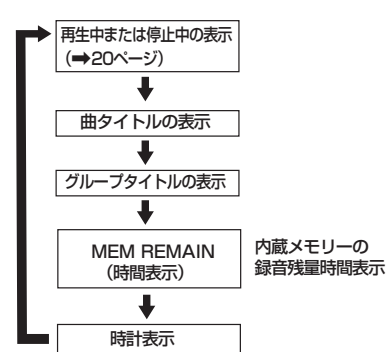
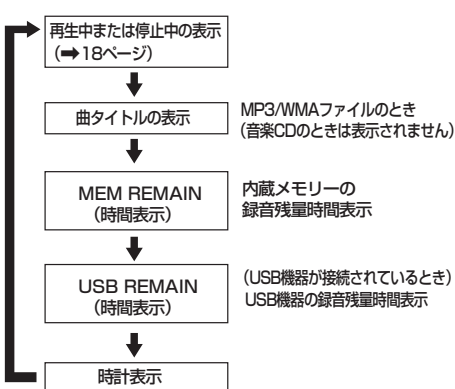
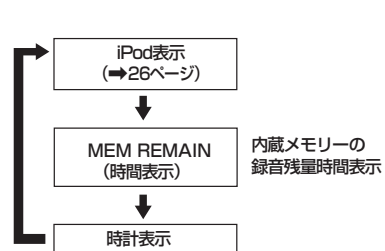
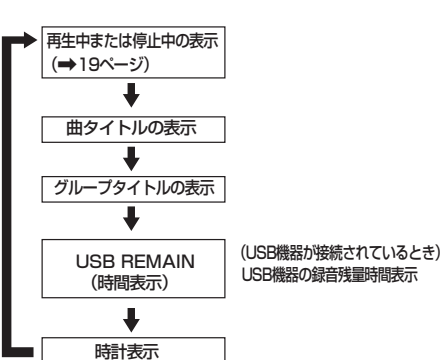
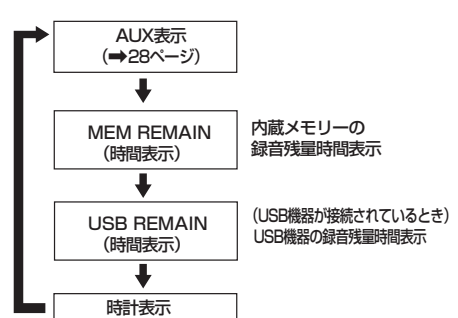
を押す

- 押すごとに、下記のように切換わります。

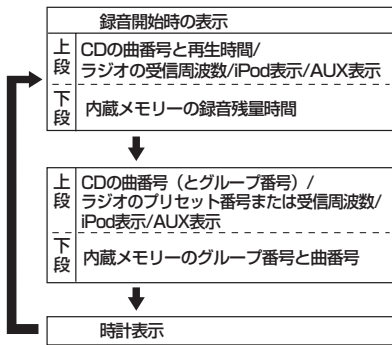
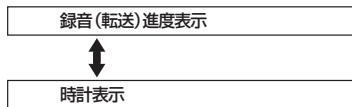
再生中

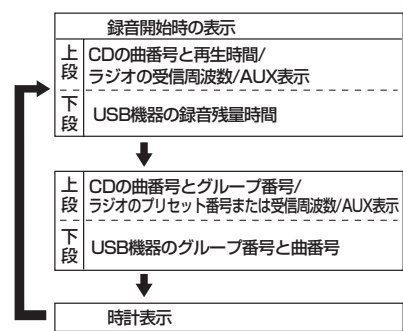
■ ラジオ放送のとき

■ CD再生中(または停止中)のとき

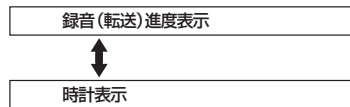
■ 内蔵メモリー再生中(または停止中)のとき

■ USB機器再生中(または停止中)のとき

■ iPod再生中(または停止中)のとき

■ AUXのとき

録音中

■ 内蔵メモリーに録音/転送しているとき

CD/ラジオ放送/iPod/AUX機器の音声を録音しているとき

USB機器の音声を転送しているとき

■ USB機器に録音/転送しているとき

CD/ラジオ放送/AUX機器の音声を録音しているとき

内蔵メモリーの音声を転送しているとき

録音（転送）進度表示

時計表示

聞く

XA-Cシリーズを使う

当社製デジタルオーディオプレーヤー(別売り)XA-C210/XA-C110/XA-C51/XA-C109/XA-C59(以下XA-Cシリーズ)を本機にUSB接続して使用すると、USB機器の操作(➡16〜24ページ)以外にもいろいろ簡単便利な機能を使うことができます。

XA-Cシリーズを使うと、こんなことができます

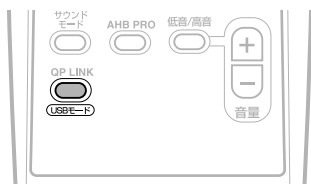
インターネット音楽配信で購入した著作権保護付き(WMA-DRM)の曲を本機でデジタル再生できます(➡33ページ)。(XA-C210/XA-C110/XA-C51のみ:2007年2月現在)

その他XA-Cシリーズでできること

- XA-Cシリーズで聞いていた曲からXA-Cシリーズの再生リスト(アルバムリストやアーティストリスト、プレイリストなど)を使ってお気に入りの曲だけ再生できます(➡33ページ)。
- XA-Cシリーズで設定したリピートモードが本機にそのまま反映されます(➡34ページ)。

本機のUSBモードについて

本機のUSBモードには、「AUTO」と「MSC」があります。
本機でXA-Cシリーズを操作するとき、本機のUSBモードによってできることが異なります。
本機でXA-Cシリーズを操作する前に、本機のUSBモードを設定または確認してください。

準備

- ソース(音源)をUSBにする

1 QP LINK (USBモード) **を長押しする**

- 現在のUSBモードが表示されます(お買い上げ時の設定は「AUTO」です)。

2 QP LINK (USBモード) **を押して「AUTO」または「MSC」を選ぶ**

- 「MSC」に設定して操作したあとは、USBモードを「AUTO」に戻してください。

XA-Cシリーズの接続について

本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

- 本機とXA-Cシリーズの接続のしかたは、「USB機器の音声を聞く」(➡20ページ)をご覧ください。
- XA-Cシリーズに収録されているAACファイルは、本機では再生できません。
- XA-Cシリーズに収録されているWAVファイルを再生するときは、本機のUSBモードを「MSC」に設定してください。

XA-CシリーズのUSBモードの設定について

■ XA-C210/XA-C110/XA-C51の場合

接続する前にXA-C210/XA-C110/XA-C51のUSBモードの設定が「**オート**」になっていることを確認してから、接続してください。

XA-C210/XA-C110/XA-C51でのUSBモードの確認のしかた

「SETTINGS」メニュー ➡「システム」➡「USBモード」➡「▣ オート」

■ XA-C109/XA-C59の場合

USBモードの切換設定はありません。
そのまま接続してください。

インターネットの音楽配信サービスで購入した著作権保護付き（WMA-DRM）の曲を本機でデジタル再生する（本機のUSBモード:「AUTO」）

XA-C210/XA-C110/XA-C51に収録されている著作権保護付き（WMA-DRM）の曲を、本機でデジタル再生することができます。

1 本機のUSBモードが「AUTO」になっていることを確認する（➡32ページ）

- XA-Cシリーズを本機に接続する前に操作します。
- 「MSC」のときは「AUTO」に設定します。

2 XA-C210/XA-C110/XA-C51を本機の•⊂(USB)端子に接続する

- このとき、本機は接続されたXA-C210/XA-C110/XA-C51をMTP機器として認識します。

MTP機器として認識されているときのXA-C210/XA-C110/XA-C51の画面

3 USB ►/II を押す（本機で操作）

- XA-C210/XA-C110/XA-C51に収録されている最初の曲から再生が始まり、著作権保護付き（WMA-DRM）の曲も含めて再生されます。ただし、曲の収録状態によっては、再生されない場合もあります。
- 本機がMTP機器として認識しているときは、次のことができません。
  - 早送り/早戻しの操作
  - XA-C210/XA-C110/XA-C51に収録されているWAVファイルの再生
    - WAVファイルを再生するには、本機のUSBモードを「MSC」にしてください。

本機は、USBデジタルメディアストリーミングに対応しています。
デジタルオーディオプレーヤーの著作権保護付き（WMA-DRM）の曲をデジタル再生するには、USB接続する機器同士がUSBデジタルメディアストリーミングに対応している必要があります。
XA-C210/XA-C110/XA-C51もUSBデジタルメディアストリーミングに対応しています。

XA-Cシリーズで聞いていた曲からXA-Cシリーズの再生リスト（アルバムリストやアーティストリスト、プレイリストなど）を使って再生する（本機のUSBモード:「MSC」）

1 本機のUSBモードを「MSC」にする（➡32ページ）

- XA-Cシリーズを本機に接続する前に操作します。

2 XA-Cシリーズで聞きたい再生リスト（アーティストリストやアルバムリスト、プレイリストなど）**を選ぶ**（XA-Cシリーズで本機に接続する前に操作）

3 XA-Cシリーズを本機の•⊂(USB)端子に接続する

4 USB ►/II を押す（本機で操作）

例：XA-CシリーズのAlbum02に15曲含まれている場合、15曲を自動で本機にプログラム登録します。

- XA-Cシリーズで選んだ曲の頭から本機で再生が始まります。
  本機では、自動的にプログラム再生になり、本機表示窓の「PRGM」が点灯します。
  このとき、本機のプログラムには、再生中の曲を含むXA-Cシリーズの再生リスト（アーティストリストやアルバムリスト、プレイリストなど）の曲を最大999曲まで自動で登録します。
- 再生リスト内に含まれるAACファイルは、本機にプログラム登録されません。
- 本機でプログラム再生を解除して通常の再生をするには、「プログラム再生を解除するには」（➡22ページ）をご覧ください。

ご注意：本機のUSBモードを「MSC」にすると、著作権保護付き（WMA-DRM）の音声ファイルは再生できません。「DRM FILE」と表示され、次の曲に移ります。

XA-Cシリーズのリピートモードを本機に反映させる（本機のUSBモード:「MSC」）

1 本機のUSBモードを「MSC」にする（➡32ページ）
- XA-Cシリーズを本機に接続する前に操作します。

2 XA-Cシリーズでリピートモードを設定する（本機に接続する前にXA-Cシリーズで操作）

3 XA-Cシリーズを本機の⭠（USB）端子に接続する

4 USB ▶/II を押す（本機で操作）
- XA-Cシリーズのリピートモードが本機に反映され、本機表示窓のリピートモード表示が、XA-Cシリーズで設定されたリピートモードにあわせて点灯します。
  ただし、XA-Cシリーズのリピートモードが「A-Bリピート」のときは、反映されません。
- 本機でリピートモードを変更することもできます（➡24ページ）。

ご注意：本機のUSBモードを「MSC」にすると、著作権保護付き（WMA-DRM）の音声ファイルは再生できません。

本機からXA-Cシリーズをはずすとき

■ **通常にはずすとき**
本機のUSBモードにかかわらず、停止中にUSBケーブルを外します。

■ **本機のプログラム内容をXA-Cシリーズに反映させ、本機で停止した場所からXA-Cシリーズで再生させたいとき**

- **本機のUSBモードが「MSC」でXA-Cシリーズを接続していて、本機表示窓に「PRGM」が表示されているときに次の操作をしてはずします。**
  1. 本機を停止状態にする
  2. 本機の表示窓に「PLEASE WAIT」と表示されるまで本機の ■（リモコン：■）を長押しする
  3. 本機の表示窓に「DISCONNECT OK」と表示され、そのあと「NO USB」と表示されたらUSBケーブルをはずす
     - 本機で登録されていたプログラム内容がXA-Cシリーズに一時的に反映されます。XA-Cシリーズで曲を選び直すとプログラム内容は削除されます。
     - はずしたXA-Cシリーズを再生すると、本機で再生を停止した場所から再生が始まります。

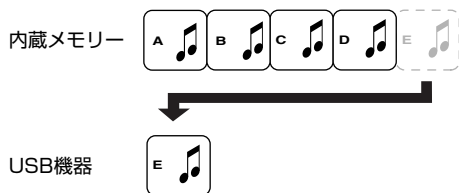
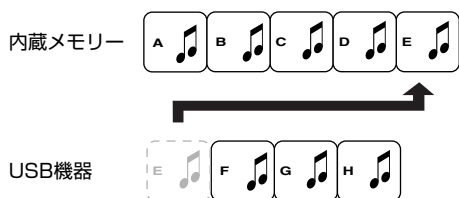
USBモードについて

当社製デジタルオーディオプレーヤー（別売り）XA-Cシリーズは、インターネットの音楽配信などからダウンロードした著作権保護付き（WMA-DRM）ファイルも再生できるMTP機器としての機能と、USBマスストレージ規格対応機器（MSC機器）としての機能をあわせ持っています。
本機のUSBモードが「AUTO」でUSB接続すると、本機は優先的にMTP機器として認識します。
本機でMTP機器として接続しているときは、本機からの録音/転送、編集が禁止されます。この場合、USBモードを「MSC」に設定すると、本機は強制的にMSC機器として認識するため、本機からの録音/転送、編集が可能となります。ただし、著作権保護付き（WMA-DRM）ファイルの再生、録音/転送、編集はできません。
- USBモードが「AUTO」でMSC機器が接続された場合、本機は自動でMSC機器と認識します。

録音する前に

内蔵メモリーまたはUSB機器への録音について

- 本機は、**1GBのメモリーを内蔵**しています。LPモードで録音した場合、1曲4分と計算して約500曲分(CD約50枚分)保存できます。
- 内蔵メモリーまたはUSB機器には、最大999トラックまで録音できます。それ以上録音しようとすると「**TRACK FULL**」が表示されます。
- 内蔵メモリーまたはUSB機器には、最大999グループまで作ることができます。それ以上グループを作成しようとすると「**GROUP FULL**」が表示されます。
- CD、ラジオ放送、iPod、AUX機器の音声は、**MP3形式のフォーマットで録音**されます。
- MP3/WMAが収録されているCDで、本機で表示できる文字だけで曲のタイトルがついているときは、タイトル名がコピーされ、そのあとに拡張子(.MP3)がつきます。
  本機で表示できない文字がタイトルに含まれているとき、または、タイトル名がないときは、「**track.MP3**」が付きます。
- USB機器から内蔵メモリーへの録音は、音声ファイルの転送になり、タイトルもそのまま転送されます。転送すると、USB機器の音声ファイルは残りません(転送のイメージは下図をご覧ください)。ただし、著作権保護付き(WMA-DRM)の音声ファイルは転送できません。
- 内蔵メモリーからUSB機器への録音は、音声ファイルの転送になり、タイトルもそのまま転送されます。転送すると、内蔵メモリーの音声ファイルは残りません(転送のイメージは下図をご覧ください)。

内蔵メモリーのE曲をUSB機器に転送すると

USB機器のE曲を内蔵メモリーに転送すると

録音全般について

- 本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- CDの倍速録音ではCDを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。このようなときは、等速で録音してください。
- iPodやAUX端子に接続した機器の音声を録音するときは、サウンドシンクロ録音になります。サウンドシンクロ録音では、ソース(音源)の音声信号に反応して自動的に録音がはじまります。また、ソース(音源)の音声が30秒以上無音の場合は、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了した曲の最後に約2秒の無音時間が追加されます。
- リピート再生での録音はできません。録音を開始すると自動でリピート再生が解除されます。

HCMS(倍速録音での著作権保護)について

- CDから内蔵メモリー/USB機器への倍速録音にはHCMS(倍速録音での著作権保護)の規定があります。この規定により、CDから1度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の倍速での再録音はできません(➡56ページ)。

本機からXA-Cシリーズに録音/転送するとき

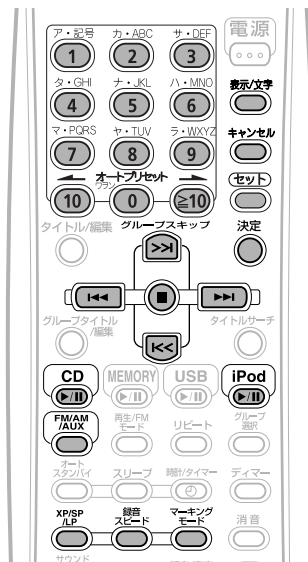
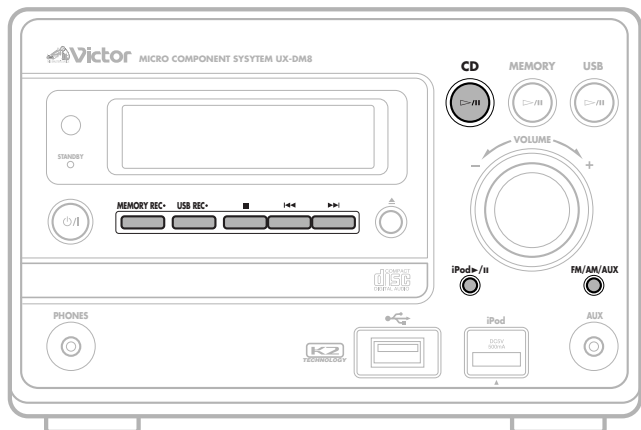
- 本機からXA-Cシリーズに録音/転送するときは、本機のUSBモードを「**MSC**」に設定してから録音/転送してください。「**AUTO**」のままだと、録音/転送ができません。
  USBモードの変更のしかたは、「本機のUSBモードについて」(➡32ページ)をご覧ください。
- XA-Cシリーズから本機内蔵メモリーに転送した曲を再度XA-Cシリーズに転送すると、曲番号などが新たに割り振られ、ファイル(曲)名が変わるためXA-Cシリーズで聞いていたときとは曲順が異なる場合があります。また、グループ単位での転送も同様です。

USB機器に録音/転送するときのご注意

- USB機器に録音/転送するときは、本機表示窓の**USB**表示(➡20ページ)が点灯していることを確認してから録音操作をはじめてください。USB機器を読み込み中(**USB**表示消灯)は録音を開始できません。
- USB機器に録音/転送するとき、録音/転送先をルート(➡18ページ)にあたるグループ1にすると、USB機器によっては、録音/転送できる曲数が170曲前後になる場合があります。このようなときは、新たにグループを作成するかグループ1以外のグループを選んで録音/転送してください。

内蔵メモリーまたはUSB機器に録音する

本体

リモコン

USB機器の接続（USB機器に録音するとき）

USB機器に録音するときは、あらかじめ ⭠ (USB)端子にUSBマスストレージ規格対応のデジタルオーディオプレーヤーまたはUSBフラッシュメモリーを接続します。
本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

録音残量時間を確認する

• 再生するソース（音源）にしてから、表示/文字 をくり返し押して録音残量時間を確認します（➡30ページ）。
再生するソースがCD、FM、AM、iPod、AUXのときは、設定されている録音モードで録音残量時間が表示されます。
再生するソースがUSBまたは内蔵メモリーのときは、録音モードが「SP REC」の録音残量時間が表示されます。
• 内蔵メモリーの録音残量時間が不足しているときに録音しようとすると、「DATA FULL」が表示され録音できません。録音残量時間を確認してから録音してください。

録音モードについて

本機の内蔵メモリーまたはUSB機器にCD、FM、AM、iPod、AUXの音を録音するときの録音モードには、**XP REC**、**SP REC**、**LP REC**の3種類の録音モードがあります。
録音モードが長時間（XP REC→SP REC→LP REC）になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは「**XP REC**」を選んでください。
各録音モードは次のようになります。

XP REC：192kbpsのビットレートで録音します（内蔵メモリーの場合、1曲4分として約160曲）。
録音モードの中では一番良い音質で録音できます。

SP REC：128kbpsのビットレートで録音します（内蔵メモリーの場合、1曲4分として約250曲）。

LP REC：64kbpsのビットレートで録音します（内蔵メモリーの場合、1曲4分として約500曲）。

• 録音モードの異なる曲を混在させて録音することもできます。
• USB機器は、容量によって録音できる曲数が変わります。

ご注意

• 内蔵メモリーへの録音/編集中またはUSB機器への録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING（ライティング）」（書き込み中）の表示中は注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
• USB機器は、本機またはUSB機器が再生中、録音中、編集中に取りはずさないでください。再生中、録音中、編集中に取りはずすと、故障や不具合の原因となります。

CDを録音する

準備
• CDをCDトレイに入れる

1 CD(▶/II)を押してから(■)を押す

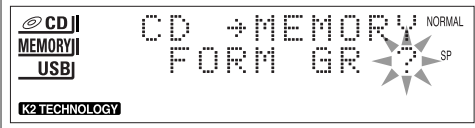
2 XP/SP/LP をくり返し押して録音モードを選ぶ
• 「XP REC」、「SP REC」、「LP REC」から選びます。録音モードについては、「録音モードについて」(➡36ページ)の説明をご覧ください。

3 録音スピード をくり返し押して録音速度を選ぶ
REC SPEED NORMAL:
等速で録音します。
REC SPEED HIGH:
本機が自動でCDの状態をチェックし、正常なときは、8倍速で録音します。CDの状態によっては、本機が録音速度を自動で4倍速から5倍速まで下げて録音します。
• 倍速録音中は音声を聞くことはできません。
• MP3/WMAファイルの倍速録音はできません。「REC SPEED HIGH」(倍速)を選んでも、等速でアナログ録音されます。
• CDによっては振動音がでますが、故障ではありません。

4 内蔵メモリーに録音するとき:
本体の MEMORY REC● を押す
USB機器に録音するとき:
本体の USB REC● を押す
例:内蔵メモリーに録音するとき
倍速録音のときはHIGHが点灯

録音モード

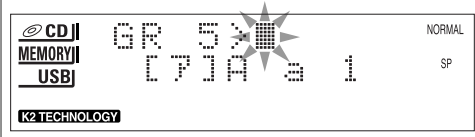
• グループ「G1 MUSIC」(ルートのため削除できないグループ)が表示されます(➡16、18ページ)。

5 新しくグループを作成してから録音するとき:
例:CDを内蔵メモリーへ録音するとき
① |◀◀ を1回押して「FORM GR?」を選ぶ

CD →MEMORY
FORM GR ?

② セット を押す
• 新しいグループが作成されます。初めてグループを作成したときは、グループ2が作成されます(ルートのため削除できないグループ「G1 MUSIC」がすでにあるため)。
「タイトルをつける」の手順2、3(➡44ページ)の操作をして、グループタイトルを入力することもできます。グループタイトルには数字以外の管理しやすいタイトルをつけると便利です。
• セット を押さずに本体の MEMORY REC● (内蔵メモリーへ録音)または USB REC● (USB機器へ録音)を押すと、グループタイトル無しのグループに録音します。

例: グループ4まであるときは、新たにグループ5が自動で作成されます。

③ 決定 を押す
• 録音がはじまります。

録音先のグループを選ぶとき:
グループを選んでから(「聞きたいグループから再生」(➡21ページ))、本体の MEMORY REC● (内蔵メモリーへ録音)または USB REC● (USB機器へ録音)を押す
• 録音がはじまります。
• ▶▶| または |◀◀ を押してもグループが選べます。

グループ「G1 MUSIC」に録音するとき:
本体の MEMORY REC● (内蔵メモリーへ録音)または USB REC● (USB機器へ録音)を押す
• 録音がはじまります。

録音する

ラジオ、iPod、AUX機器の音声を録音する

準備

- iPodの音声を録音するときは、iPod端子に接続する（➡26ページ）
  — iPodの音声は、内蔵メモリーにのみ録音することができます。USB機器には録音できません。
- AUX機器の音声を録音するときは、AUX端子に機器を接続する（➡28ページ）

1

ラジオ放送のとき：

録音する放送局を受信する

iPodのとき：

iPod を押して「iPod」にする

- 録音したい曲の頭で一時停止させます。

AUX機器のとき：

FM/AM /AUX を押して「AUX」にする

2

XP/SP /LP をくり返し押して録音モードを選ぶ

- 「CDを録音する」手順2参照（➡37ページ）。

3

マーキング モード をくり返し押してトラックマークのつけかたを選ぶ

押すごとに次のように変わります。

MANUAL：録音中、セット を押したところにトラックマークがつきます（お買い上げ時の設定）。

TIME　：5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。

AUTO　：無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。セット を押してもトラックマークをつけることができます。

- トラックマークをつけたとき、前後の曲のつながりが少し途切れます。

4

内蔵メモリーに録音するとき：

本体の MEMORY REC● を押す

USB機器に録音するとき：

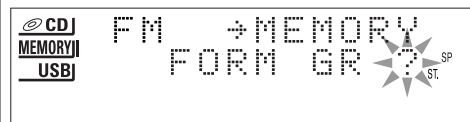
本体の USB REC● を押す

- グループ「G1 MUSIC」（ルートのため削除できないグループ）が表示されます（➡16、18ページ）。

5

新しくグループを作成してから録音するとき：

例：FM放送を内蔵メモリーへ録音するとき

① |◀◀ を1回押して「FORM GR?」を選ぶ

CD / MEMORY / USB　FM →MEMORY　FORM GR ?　SP ST.

② セット を押す

- 新しいグループが作成されます。初めてグループを作成したときは、グループ2が作成されます（ルートのため削除できないグループ「G1 MUSIC」がすでにあるため）。
  「タイトルをつける」の手順2、3（➡44ページ）の操作をして、グループタイトルを入力することもできます。グループタイトルには数字以外の管理しやすいタイトルをつけると便利です。
- セット を押さずに本体の MEMORY REC● （内蔵メモリーへ録音）または USB REC● （USB機器へ録音）を押すと、グループタイトル無しのグループに録音します。

例：グループ4まであるときは、新たにグループ5が自動で作成されます。

CD / MEMORY / USB　GR 5 >▦　[ア]A a 1　SP ST.

③ 決定 を押す

- 録音がはじまります。

録音先のグループを選ぶとき：

グループを選んでから（「聞きたいグループから再生」（➡21ページ））、本体の MEMORY REC● （内蔵メモリーへ録音）または USB REC● （USB機器へ録音）を押す

- 録音がはじまります。
- ▶▶| または |◀◀ を押してもグループが選べます。

グループ「G1 MUSIC」に録音するとき：

本体の MEMORY REC● （内蔵メモリーへ録音）または USB REC● （USB機器へ録音）を押す

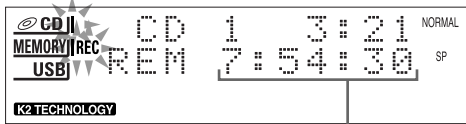
- 録音がはじまります。

ボタンの位置は36ページをご覧ください。

録音がはじまると

CDの録音のとき

- CDのときは、再生と同時に録音がはじまり、再生が停止すると録音も停止します(シンクロ録音)。

録音中の表示

録音残量時間

iPodからの録音またはAUXからの録音のとき

- iPodまたはAUX接続機器のときは、録音残量時間(REM表示)が表示されたらiPodまたは接続した機器の再生をはじめてください。音声が入力されると、録音が自動的にはじまります(サウンドシンクロ録音)。
- AUX端子に接続したデジタルオーディオプレーヤーからの音声信号が小さいときは、サウンドシンクロ録音できない場合があります。このような場合は、デジタルオーディオプレーヤーの音量を上げてください。
- 音声が小さいためサウンドシンクロ録音がはじまらないときなどは、MEMORY ▶/II(USB機器に録音するときは USB ▶/II)を押して強制的に録音を開始することもできます。
  ただし、録音開始後、音声が30秒以上途切れると、録音は自動的に停止します。

CD-R/CD-RWの録音

CD-DAが収録されているCD-R/CD-RWを録音するとき、本体の MEMORY REC●(または USB REC●)を押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは、録音速度を等速「NORMAL」にし、MEMORY REC●(USB機器に録音するときは USB REC●)を4秒以上長押しすると「ANALOG REC？」が表示されます。

「ANALOG REC？」が表示中に再度 MEMORY REC●(USB機器に録音するときは USB REC●)を押してから「**CDを録音する**」(➡37ページ)の手順5の操作をすると、アナログ録音されます。

CDの途中の曲から最後の曲まで録音する

「CDを録音する」(➡37ページ)の手順1のあとに、▶▶I または I◀◀ で曲番号を指定する

- 指定した曲から最後の曲まで録音します。

CDの1曲だけを録音する

録音したい曲の再生中に、本体の MEMORY REC● (USB機器に録音するときは USB REC●)を押してから、「CDを録音する」(➡37ページ)の手順5の操作をする

- 再生中の曲の頭に戻って、録音がはじまります。
- あらかじめ設定されている録音モードと録音速度で録音されます。
- 録音動作がはじまる前に次の曲に変わったときは、その曲が録音されます。ご注意ください。

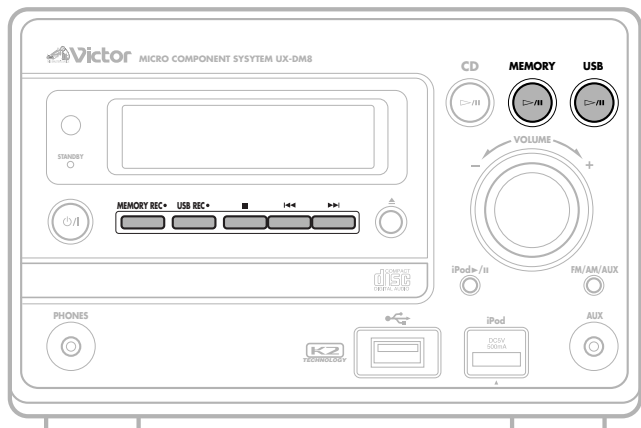
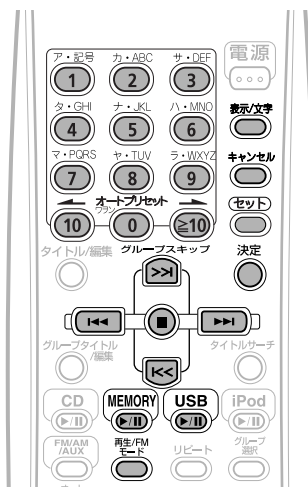
CDのプログラム録音

手順1の前にプログラム再生(➡21ページ)の操作をする

録音を停止するまたは途中でやめるとき

■ を押す

内蔵メモリー ⟷ USB機器の転送

本体

リモコン

- 内蔵メモリーからUSB機器への録音、USB機器から内蔵メモリーへの録音は、すべて転送になり、転送元のデータは残りません。
- 内蔵メモリーからUSB機器への転送、USB機器から内蔵メモリーへの転送では、1曲転送、グループ転送、プログラム転送ができます。
  ランダム再生またはグループランダム再生のときは「CANNOT REC」が表示され、転送できません。
- 転送は高速で行われ、転送中は、音声を聞くことはできません。
- 転送中は、(■)を押しても、途中で転送を停止することはできません。
- 著作権保護付き(WMA-DRM)の曲は、本機の内蔵メモリーに転送できません。

USB機器の接続

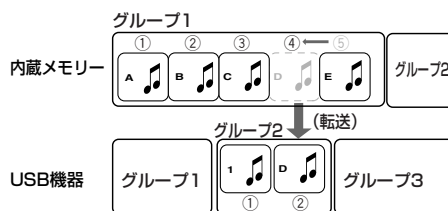
USB機器に録音するときは、あらかじめ ⭠ (USB)端子にUSBマスストレージ規格対応のデジタルオーディオプレーヤーまたはUSBフラッシュメモリーを接続します。
本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

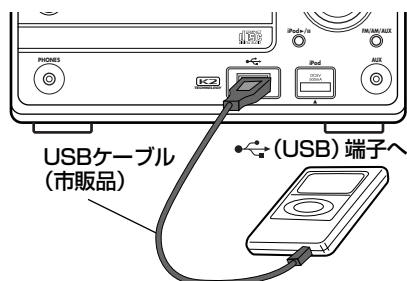
ご注意

- 内蔵メモリーへの録音/転送/編集中またはUSB機器への録音/転送/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING(ライティング)」(書き込み中)の表示中は注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- USB機器は、本機またはUSB機器が再生中、録音中、転送中、編集中に取りはずさないでください。再生中、録音中、転送中、編集中に取りはずすと、故障や不具合の原因となります。

1曲転送する

- 転送先のグループが選べます。また、転送先に新たにグループを作って、その中に転送することもできます。
  転送が終わると、転送元の曲が削除(転送)され他の曲番号が繰り上がります。

例: 内蔵メモリーグループ1のD曲をUSB機器のグループ2に録音(転送)すると

お知らせ

- 同じグループの1曲転送をくり返して、空になったグループは、再生時にグループ番号が表示されません。
  空のグループは、内蔵メモリーまたはUSB機器の「グループを削除する」(➡48ページ)の操作をして削除することができます。

ここでは、内蔵メモリーの曲をUSB機器に1曲転送する操作を例に説明します。
USB機器の曲を内蔵メモリーに1曲転送するときは、( )内のボタンに置き換えて操作してください。

1

MEMORY (USB)を押してから ■を押す

2

転送する曲を選ぶ

- グループスキップ ▶▶I または I◀◀を押してグループを選んでから、▶▶I または I◀◀を押して曲を選びます(➡21ページ)。
  曲は、数字ボタンで選ぶこともできます(➡21ページ)。

3

本体の USB REC ● (MEMORY REC ●)を押す

- 1曲転送の表示が表示されます。

4

本体の USB REC ● (MEMORY REC ●)を押す

- グループ「G1 MUSIC」(ルートのため削除できないグループ)が表示されます(➡16、18ページ)。

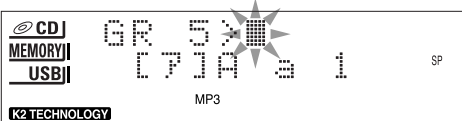
5

新しくグループを作成してから転送するとき:

① I◀◀ を1回押して「FORM GR?」を選ぶ

② セット を押す

- 新しいグループが作成されます。初めてグループを作成したときは、グループ2が作成されます(ルートのため削除できないグループ「G1 MUSIC」がすでにあるため)。
  「タイトルをつける」の手順2、3(➡44ページ)の操作をして、グループタイトルを入力することもできます。グループタイトルには数字以外の管理しやすいタイトルをつけると便利です。
- セット を押さずに本体の USB REC ● (MEMORY REC ●)を押すと、グループタイトル無しのグループに録音します。

例: グループ4まであるときは、新たにグループ5が自動で作成されます。

③ 決定 を押す

- 転送がはじまります。

転送先のグループを選ぶとき:

グループを選んでから(「聞きたいグループから再生」(➡21ページ))、本体の USB REC ● (MEMORY REC ●)を押す

- 転送がはじまります。
- ▶▶I または I◀◀を押してもグループが選べます。

グループ「G1 MUSIC」に転送するとき:

本体の USB REC ● (MEMORY REC ●)を押す

- 転送がはじまります。

転送がはじまると

「MOVE START」と表示されてから、転送進度が表示されます。
転送進度が100%になると、「WRITING」と点滅し、「WRITING」が消えると転送が終了します。
- 転送する曲が短い場合、転送進度が表示されないことがあります。
- 転送が終了するまで時間がかかることがあります。

この間に「DRM CHECK」と表示されることがあります。

CD MEMORY USB REC
1TR → USB
54%
SP MP3 K2 TECHNOLOGY

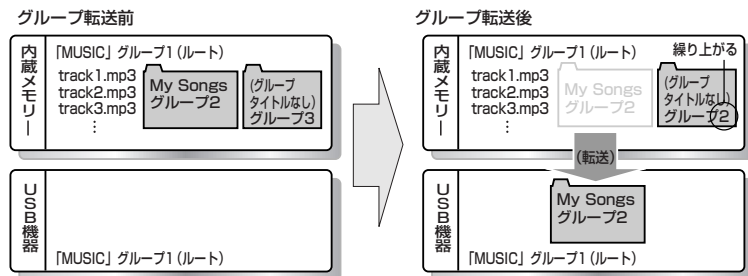
グループ転送する

- 録音先に新たにグループが作成されます。録音先のグループを選ぶことはできません。
- 録音元のグループが転送され削除されます。収録されている他のグループ番号は繰り上がります。

例:内蔵メモリーのMy Songsグループ2をUSB機器に転送すると

グループ転送前

内蔵メモリー
「MUSIC」グループ1(ルート)
track1.mp3
track2.mp3
track3.mp3
⋮
My Songs グループ2
(グループタイトルなし) グループ3

USB機器
「MUSIC」グループ1(ルート)

グループ転送後

お知らせ

- グループ転送のとき、転送するグループ内に著作権保護付き(WMA-DRM)の曲が含まれているときは、グループ転送できません。
- グループ転送のとき、グループ内に未対応形式のファイルが含まれている場合は、そのファイルは転送されず、グループも残ります。

ここでは、内蔵メモリーの曲をUSB機器にグループ転送する操作を例に説明します。
USB機器の曲を内蔵メモリーにグループ転送するときは、( )内のボタンに置き換えて操作してください。

1

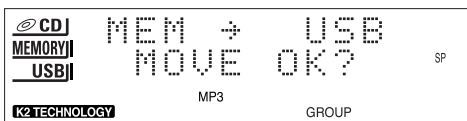
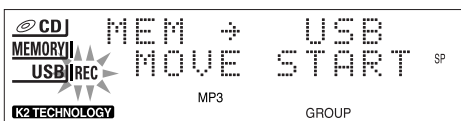
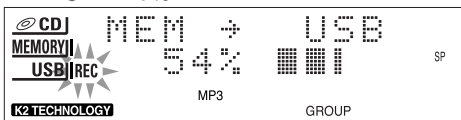
MEMORY (USB)を押してから

■を押す

2 転送するグループを選ぶ

- 再生/FMモード を押して、グループ再生を選び、グループスキップ >>| または |<< を押して転送するグループを選びます(➡24ページ)。

3 本体の USB REC ● (MEMORY REC ●)を押す

- グループ転送の表示が表示されます。

4 本体の USB REC ● (MEMORY REC ●)を押す

- 転送がはじまります。

- 「MOVE START」と表示されてから、転送進度が表示されます。
  転送進度が100%になると「WRITING」と点滅し、「WRITING」が消えると転送が終了します。
  – 転送が終了するまで時間がかかることがあります。
  – グループ転送が終わると、グループ再生も解除されます。

「MUSIC」グループ1をグループ転送するときのご注意

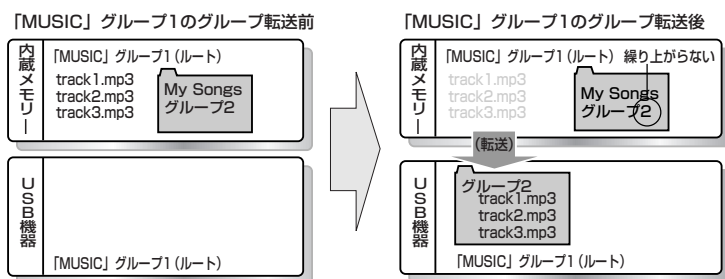
内蔵メモリー、USB機器ともに、「MUSIC」グループ1はルート(➡16、18ページ)のため、グループ転送をすると、グループ内の曲は転送されますが、「MUSIC」グループ1は削除されずに空のグループとして残ります。「MUSIC」グループ1をグループ転送したときだけ、グループ番号は繰り上がりません。

例:内蔵メモリー「MUSIC」グループ1をUSB機器にグループ転送すると

「MUSIC」グループ1のグループ転送前

内蔵メモリー
「MUSIC」グループ1(ルート)
track1.mp3
track2.mp3
track3.mp3
My Songs グループ2

USB機器
「MUSIC」グループ1(ルート)

「MUSIC」グループ1のグループ転送後

プログラム転送する

- プログラム登録した曲順で転送されます。
  ただし、同じ曲が複数回登録されているときは、その曲の転送は1回になります。
- 転送先のグループが選べます。また、転送先に新たにグループを作って、その中に転送することもできます。
  転送が終わると、転送元の曲が削除（転送）され他の曲番号が繰り上がります。

お知らせ

- プログラム転送でグループが空になった場合、空になったグループは、再生時にグループ番号が表示されません。
  空のグループは、内蔵メモリーまたはUSB機器の「グループを削除する」（➡48ページ）の操作をして削除することができます。
- プログラムの中に著作権保護付き（WMA-DRM）の曲が含まれているときは、プログラム転送できません。

ここでは、内蔵メモリーの曲をUSB機器にプログラム転送する操作を例に説明します。
USB機器の曲を内蔵メモリーにプログラム転送するときは、（　）内のボタンに置き換えて操作してください。

1 プログラムする曲を登録する

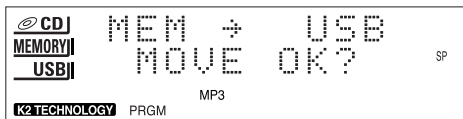
（➡21ページ）

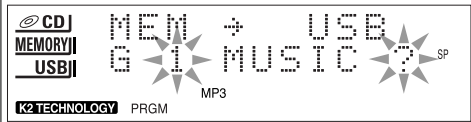
2 プログラム再生する

- プログラム登録したソース（音源）が停止中に 再生/FMモード を押します（➡21ページ）。

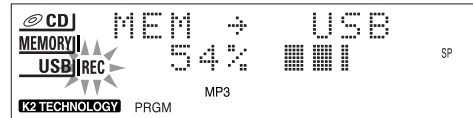
3 本体の USB REC● （MEMORY REC●）を押す

- プログラム転送の表示が表示されます。

MEM → USB
MOVE OK?

4 本体の USB REC● （MEMORY REC●）を押す

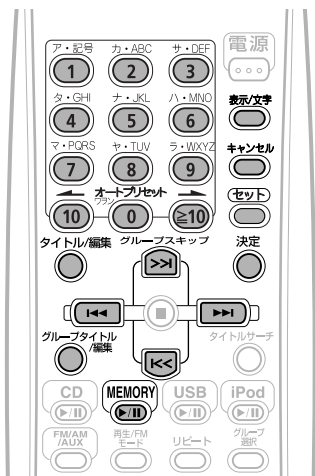
- すでにあるグループ「G1 MUSIC」（削除できないフォルダ）が表示されます。

5 「1曲転送する」の手順5（➡41ページ）の操作をする

転送がはじまると

「MOVE START」と表示されてから、転送進度が表示されます。
転送進度が100%になると、「WRITING」と点滅し、「WRITING」が消えると転送が終了します。

- 転送が終了するまで時間がかかることがあります。
- プログラム転送が終わると、プログラム再生も解除されます。

録音する

タイトルをつける

内蔵メモリーに曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

お知らせ

- 操作の途中で キャンセル を押すと前の手順に戻れます。
- プログラム再生中、ランダム再生中、グループランダム再生中、グループ再生中は、タイトル編集できません。再生モードを解除してからタイトル編集してください。
- 録音中は、タイトル入力ができません。
- 曲タイトルをつけるときは、録音時につけられた「track」を削除してからタイトル入力してください。

準備 ソース（音源）を内蔵メモリーにします。

1 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押してタイトル編集モードに切換える

■ 曲タイトルを編集するとき

タイトル/編集 を押す

曲タイトル編集表示になります。

1 TITLE?
YES?→セット

- ▶▶I または I◀◀ を押して曲番号を選びます。
- 再生中は、曲番号が表示されます。

■ グループタイトルを編集するとき

グループタイトル/編集 を押す

グループタイトル編集表示になります。

G 1 TITLE?
YES?→セット

- グループスキップ >>I または I<< を押してグループ番号を選びます。
- 「G1 MUSIC」はルート（➡16ページ）のため、グループタイトルはシステム上作成されるので編集できません。

2 セット を押す

- タイトル入力表示に切換わります。

曲タイトル入力のときは曲番号が、グループタイトル入力のときは「G」とグループ番号が表示されます。

入力位置（点滅）

1 >
[ア]A a 1

入力される文字の種類
現在選ばれている文字の種類（例はカタカナ）が[ ]で囲われます。

ア：カタカナ　A：英大文字・記号
a：英小文字・記号　1：数字

3 タイトルを入力する

- 入力のしかたは、「タイトル入力のしかた」（➡45ページ）をご覧ください。

タイトル入力に使うボタン

表示/文字：文字の種類を切換えます。

10 / ≧10：入力位置を移動します。

ア・記号 1 ～ ラ・WXYZ 9、ワラン 0：文字を入力します。

キャンセル：入力した文字を消します。

4 決定 を押す

- 「EDITING」が表示されます。

曲タイトルを編集しているとき：

終了したいとき

キャンセル を押す

- 停止中または再生中の表示に戻ります。

続けて、次の曲のタイトルをつけたいとき

セット を押す ➡ 手順3へ

- グループ内のすべての曲タイトルを編集しても、次のグループには進みません。グループスキップ >>I または I<< を押して、グループを選んでください。

グループタイトルを編集しているとき：

- グループタイトルの編集が終了し、停止中または再生中の表示に戻ります。

タイトル入力のしかた

例:「**ス**」と入力するには、

1）（表示/文字）をくり返し押して「**ア**」を[ ]で囲います。
- 入力文字が「カタカナ」になります。

2）（サ・DEF 3）をくり返し押して、「**ス**」を表示させます。
- 押すごとに「**シ➡ス➡セ➡ソ➡サ**…」と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「**ス**」を表示させます。

文字の入力位置を移動するには

- （≧10）または（10）を押します。
- 「**ウエ**」「**NO**」のように、同じボタンを使う入力が連続するときは、1文字目を入力したあと、（≧10）を押して文字の入力位置を右に移動させてから2文字目を入力します。

文字を削除するには

- 削除したい文字に入力位置を移動させ、（キャンセル）を押します。

スペース(空白)を入力するには

- 「**記号**」から空白(スペース)を選びます。
タイトルの末尾では（≧10）を押して入力することもできます。

タイトル入力をやめるには

- （タイトル/編集）または（グループタイトル/編集）を押します。それまで入力した内容は取り消されます。

本機に入力できる文字数

- 内蔵メモリーは、64文字まで入力できます。
- FM/AMの局名のときは、8文字まで入力できます。

■タイトル入力に使える文字（本機で表示できる文字）

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号（下記参照）	記号（下記参照）	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン゛ー゜			0

- **内蔵メモリーのタイトル、グループタイトルに入力できる「記号」（内蔵メモリー/USB機器のときに表示できる「記号」）**

□空白(スペース)	!	#	$	%	&	'	(	)
＋	−	.	＝	@	＿	`		

- **FM/AMの局名のときに入力/表示できる「記号」**

□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	'	(	)	*	＋
,	−	.	／	:	;	<	＝	>	?	@	＿
`											

- 「 ゛」や「 ゜」は、濁音や半濁音になる文字だけに入力できます。

内蔵メモリー/USB機器の曲とグループの編集

内蔵メモリーまたはUSB機器の曲とグループの編集について

編集操作できるソース(音源)を下記のアイコンで表示します。

 :内蔵メモリー

 : USB機器(デジタルオーディオプレーヤー)

お知らせ

- 操作の途中で キャンセル を押すと前の手順に戻れます。
  タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。
- 曲番号を選ぶとき、数字ボタン(1~10、0、

  ≧10)を押して直接選ぶこともできます。
- プログラム再生中、ランダム再生中、グループランダム再生中、グループ再生中は、編集できません。再生モードを解除してから編集してください。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅し、編集した内容が記録されます。
  「WRITING」が点滅している間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- 著作権保護付き(WMA-DRM)の曲は、本機で削除できません。また、著作権保護付き(WMA-DRM)の曲が含まれているグループのグループ削除もできません。

ご注意

- USB機器は、本機またはUSB機器が再生中、録音中、編集中に取りはずさないでください。再生中、録音中、編集中に取りはずすと、故障や不具合の原因となります。

内蔵メモリーにグループをつくる(FORM GR)

 曲(トラック)を入れる器となるグループ(フォルダ)を作ります。

- 「FORM GR」で作成したグループは、曲(トラック)の入っていない空のグループです。
  空のグループは、録音または編集以外の操作で選んだり確認することはできません。
  空のグループに曲を録音/転送、移動(MOVE)すると、再生時に表示されます。

準備
- ソース(音源)を内蔵メモリーにします。

1 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 **をくり返し押して「FORM GR?」を選んでから、セット を押す**

2 **作成するグループのタイトルを入力する**

- 「タイトル入力のしかた」(➡45ページ)参照。
- 初めてグループを作成したときは、グループ2が作成されます(ルートのため削除できないグループ「G1 MUSIC」がすでにあるため)。

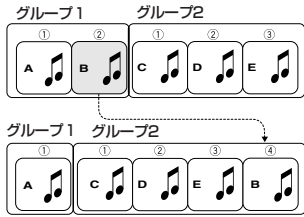
- タイトルを入力しないで、手順3の操作をすると、グループタイトルが空白のグループができます。

3 決定 **を押す**

本機でXA-Cシリーズを編集するとき

- 本機からXA-Cシリーズを編集するときは、本機のUSBモードを「MSC」に設定してから各操作を行ってください。
  「AUTO」のままだと、編集操作ができません。
  USBモードの変更のしかたは、「本機のUSBモードについて」(➡32ページ)をご覧ください。

内蔵メモリーの曲を移動する(MOVE)

メモリー 別のグループに曲を移動します。

準備	• ソース(音源)を内蔵メモリーにします。

1 移動する曲を再生する

2 タイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE?」を選んでから、** セット **を押す**

3 セット **を押す**

曲タイトル表示

4 グループスキップ >>| **または** |<< **を押して移動先のグループを選び、** セット **を押す**

グループタイトル表示

• グループタイトルがないときは、空白になります。

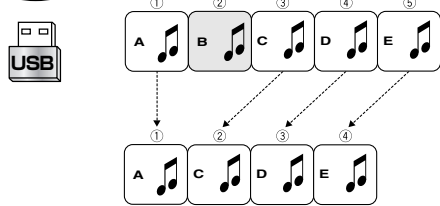
5 ▶▶| **または** |◀◀ **を押して移動先の曲番号を選び、** セット **を押す**

曲タイトル表示

4 track.M
OK?→セット

6 決定 **を押す**

曲を削除する(ERASE)

例:B曲を削除すると

ご注意

• 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

準備	• 内蔵メモリーのとき: ソース(音源)を内蔵メモリーにします。 • USB機器のとき: ソース(音源)をUSBにします。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「ERASE?」を選んでから、** セット **を押す**

2 ▶▶| **または** |◀◀ **を押して削除したい曲番号を選び、** セット **を押す**

• 「曲番号 曲タイトル」の後ろに「✓」がつきます。
「✓」のついている曲が削除されます。
• 間違えたときは、キャンセル を押して「✓」を消します。
• 手順2の操作をくり返して15曲まで選ぶことができます。
16曲目を選んで セット を押すと、「MEMORY FULL」が表示されます。

3 決定 **を押す**

4 本当に削除してもよければ 決定 **を押す**

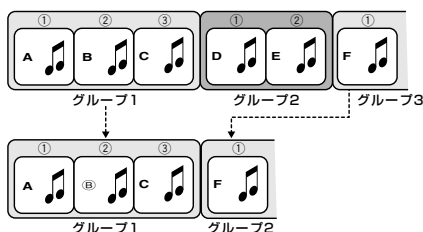
お知らせ

• グループ内のすべての曲を削除しても、グループは空のグループとして残ります。空のグループは録音、編集時に表示され、「グループを削除する」(➡48ページ)の操作をすると削除できます。

編集

グループを削除する(ERASE GR)

グループと、そのグループ内の曲を削除します。

例：グループ2を削除すると

ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

準備

- **内蔵メモリーのとき：**
  ソース（音源）を内蔵メモリーにします。
- **USB機器のとき：**
  ソース（音源）をUSBにします。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「ERASE GR?」を選んでから、セット を押す**

2 グループスキップ >>| または |<< **を押して消すグループを選ぶ**

グループタイトル表示

G 2 ABC ?
ERASE?→セット

- 曲が入っていない空のグループを選ぶときは、停止中に操作します。
- グループタイトルがないときは、空白で表示されます。

3 セット **を押す**

4 **本当に削除してもよければ** 決定 **を押す**

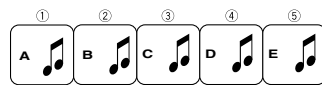
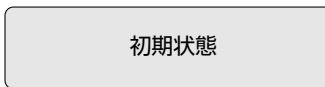
お知らせ

- 「G1 MUSIC」はルート（➡16、18ページ）のため、削除できません。グループ内の曲だけ削除され、空のグループとして残ります。
- 空のグループは、本機が停止中のみ確認できます。
- USB機器のとき、MP3、WMA、WAV形式以外のファイルが入っているグループの場合は、MP3、WMA、WAV形式のファイルのみ削除され、グループは削除されず残ります。
- USB機器のとき、削除したグループに999を超える曲が入っている場合、本機で表示されている曲のみ削除されます。

初期化する(FORMAT)

内蔵メモリーまたはUSB機器を初期化します。

初期化して全曲を消す

初期状態

ご注意

- 内蔵メモリーを初期化すると曲がすべて削除されます。ただし、曲は削除されますが、グループ「G1 MUSIC」は残ります。
- USB機器のとき、本機で「USB NO AUDIO」と表示されても、音楽ファイル以外のデータが収録されている場合があります。USB機器を初期化すると、本機から録音/転送した音楽ファイルだけでなく、収録されているすべてのファイルが削除されます。
  一度初期化すると削除されたファイルは、戻すことができません。よく確認した上で操作してください。
  特に、USBマスストレージ規格対応のデジタルオーディオプレーヤーの場合、本機で初期化することで、正しく再生できなくなる場合があります。ご注意ください。

準備

- **内蔵メモリーのとき：**
  ソース（音源）を内蔵メモリーにします。
- **USB機器のとき：**
  ソース（音源）をUSBにします。

1 タイトル/編集 **または** グループタイトル/編集 **をくり返し押して「FORMAT?」を選んでから、セット を押す**

2 決定 **を押す**

<FORMAT>
YES?→ケッテイ

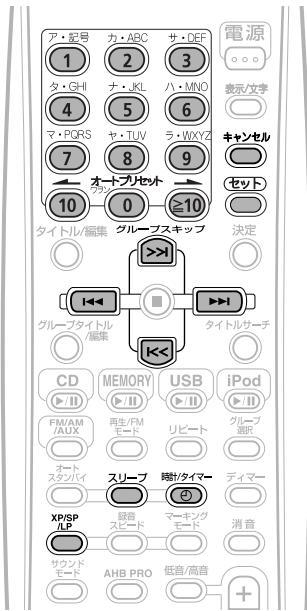
3 セット **を押す**

<FORMAT>
YES?→セット

4 **本当に初期化してもよければ** 決定 **を押す**

REALLY?
YES?→ケッテイ

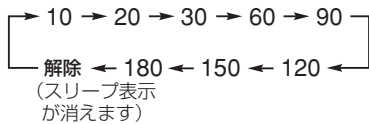
タイマーを使う

タイマー操作をする前に
時計を合わせておいてください(➡12ページ)。

おやすみタイマー

設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

スリープ を押す

- 押すごとに、時間(単位:分)が次のように切換わります。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 180 → 解除(スリープ表示が消えます) → 10

お知らせ

- おやすみタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります(オートディマー機能)。

設定した時間を変更するには

スリープをくり返し押して時間を選び直します。

設定した時間(残り時間)を確認するには

おやすみタイマーが設定された状態で、スリープを1回押します。

録音タイマー

内蔵メモリーに録音します。

- 録音タイマーを使って、USB機器に録音することはできません。

ご注意

- 複数のタイマーを動作させるときは、タイマーの終了時間と開始時間の間に6分以上間隔をあけて設定してください。
  また、タイマーの設定をして電源を「切」にしてから、タイマーの開始時間までの間も6分以上間隔をあけてください。

準備

- 録音したいソース(音源)の準備
  ラジオ:放送局をプリセットする
  AUX機器:AUX端子に接続しタイマーの設定をする

1 時計/タイマー をくり返し押して「TIMER1～TIMER3」のいずれかを選び、セット を押す

例:TIMER 1のとき

```
TIMER1→ セット
OFF?→キャンセル
```

- 以降の手順でキャンセルを押すと1つ前の設定に戻ります。

2 ▶▶| または と セット で開始時刻と終了時刻を設定する

- 時刻の設定方法は、12ページをご覧ください。

3 ▶▶| または |◀◀ と セット で毎日使用か1回使用を選ぶ

- ONCE(ワンス) : 1回だけ動作します。動作後、解除しても設定内容は残ります。
- WEEKLY(ウィークリー) : タイマーを解除するまで毎週または毎日動作します。

50ページに続く

編集 / タイマーを使う

4 [▶▶I] または [I◀◀] と (セット) で 動作させたい曜日を選ぶ

「WEEKLY」を選んだとき：
「Sun」(日曜日)〜「Sat」(土曜日)、
「Mon－Fri」(月曜日〜金曜日)、
「Mon－Sat」(月曜日〜土曜日)、
「Everyday」(毎日)から選べます。

「ONCE」を選んだとき：
「Sun」(日曜日)〜「Sat」(土曜日)から選べます。

5 [▶▶I] または [I◀◀] と (セット) で 「REC TIMER」(録音タイマー)を選ぶ

6 [▶▶I] または [I◀◀] と (セット) で 録音するソース(音源)を選ぶ

録音するソース(音源)：
FM放送、AM放送、AUXになります。

- 録音するソース(音源)が「FM」または「AM」のとき：
  [▶▶I] または [I◀◀] で録音する放送局のプリセット番号を選んで (セット) を押す。
  (数字ボタンで選ぶこともできます)

7 電源「入」で設定しているとき：電源を「切」にする

- タイマーは電源「切」のとき動作します。

録音モードの設定について

内蔵メモリーの録音モードの設定は、録音タイマーを設定する前または設定が終了してから行います。電源「切」で録音タイマーを設定したときは、電源「入」にしてから、録音設定の操作をしてください。

(XP/SP /LP)をくり返し押して録音モードを設定します(➡36ページ)。

内蔵メモリーのグループについて

内蔵メモリーに、グループ「TIMER」が自動で作られ、その中に録音されます。
グループを選んだり、新たに作成することはできません。
録音タイマーが終了後に、編集操作で移動などしてください。

録音タイマーを解除するには

(時計/タイマー) をくり返し押して解除したいタイマー番号を選び、(キャンセル) を押す

- タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

同じ内容で再設定するには

(時計/タイマー) をくり返し押して再設定したいタイマー番号を選び、(決定) を押す

- 表示窓に設定内容が表示されます。そのあと電源を「切」にします。

お知らせ

- タイマーに設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 録音タイマーで録音中の音量は、「0」に設定されているので音は出ません。音を聞きたいときは、音量を調節してください。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

再生タイマー

ご注意

- 複数のタイマーを動作させるときは、タイマーの終了時間と開始時間の間に6分以上間隔をあけて設定してください。
  また、タイマーの設定をして電源を「切」にしてから、タイマーの開始時間までの間も6分以上間隔をあけてください。

準備

- 再生したいソース（音源）の準備
  - CD：CDを入れる
  - ラジオ：放送局をプリセットする
  - 他の機器：AUX端子に接続しタイマーの設定をする
  - USB：USB端子に接続する
  - iPod：iPodを接続する
    - 再生したい曲の頭で一時停止させます。

1 **「録音タイマー」(➡49ページ)の手順1～4を行う**

2 **[▶▶I]（または[I◀◀]）と(セット)で「PLAY TIMER」(再生タイマー)を選ぶ**

3 **[▶▶I]（または[I◀◀]）と(セット)で再生するソース（音源）を選ぶ**

「FM」、「AM」を選んだとき：

[▶▶I]または[I◀◀]で受信する放送局のプリセット番号を選んで(セット)を押す。
（数字ボタンで選ぶこともできます）

「CD」を選んだとき：

音楽CDのときは、グループを選ばずに(セット)を押してから[▶▶I]または[I◀◀]で再生を開始する曲番号を選んで(セット)を押す。

CDのMP3/WMAファイルのときは、[▶▶I]または[I◀◀]でグループ番号を選んでから(セット)を押し、同様に曲番号を選んでから(セット)を押します。

「MEMORY」、「USB」を選んだとき：

[▶▶I]または[I◀◀]でグループ番号を選んでから(セット)を押し、同様に曲番号を選んでから(セット)を押します。

4 **[▶▶I]（または[I◀◀]）と(セット)で再生する音量を調節する**

- 数字ボタンを使って音量を調節することもできます。

5 **電源「入」で設定しているとき：**
電源を「切」にする

- タイマーは電源「切」のとき動作します。

再生タイマーを解除するには

(時計/タイマー)をくり返し押して解除したいタイマー番号を選び、(キャンセル)を押す

- タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

同じ内容で再設定するには

(時計/タイマー)をくり返し押して再設定したいタイマー番号を選び、(決定)を押す

- 表示窓に設定内容が表示されます。そのあと電源を「切」にします。

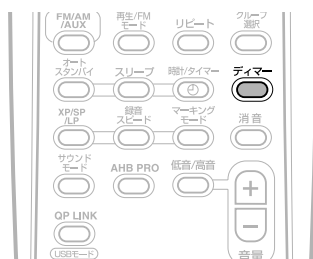
お知らせ

- 再生タイマーが動作をはじめるとき、設定した音量まで除々に大きくなります（ウェイクアップボリューム機能）。
- 手順3で再生するソース（音源）が「CD」で音楽CDのとき、グループ番号を選んで設定を進めても、音楽CDにはグループが無いためグループ番号は無効になり、選んだ曲番号の曲から再生がはじまります。存在しないグループ番号、曲番号を選んだときは、1曲目から再生されます。
- タイマーに設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

iPodについてのお知らせ

- 再生タイマーでiPodを使うときは、充電モードをオンにしておいてください(➡27ページ)。
- 本機に対応していないiPodでは、タイマー機能は使えません(➡26ページ)。

オートスタンバイ

ラジオ(FM/AM)以外のソース(音源)のとき無音状態が3分間続くと、自動的に電源が「切」になります。

■ ソース(音源)がFM/AM以外のときに

オートスタンバイ を押す

- 表示窓に「A STANDBY SET」が数秒間表示され、A. STBY表示が点灯します。

オートスタンバイの動作

CD、内蔵メモリー、USB機器を再生しているときや、録音しているとき:

再生または録音が終了すると、オートスタンバイが動作(A.STBY表示が点滅)し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。
3分以内に再生または録音の操作をしたときは、再生または録音が終了してから再度オートスタンバイが動作します。

AUX機器の音声を聞いているとき:

無音状態になるとオートスタンバイが動作(A.STBY表示が点滅)し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります(QP LINK有効時)。

iPodの音声を聞いているとき:

iPodを外して未接続になるとオートスタンバイが動作(A.STBY表示が点滅)し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

電源が「**切**」になる20秒前になると「A STANDBY OFF」表示が点滅します。

解除するには

オートスタンバイ をもう一度押します。

お知らせ

- 音量(ボリューム)を「0」にした状態はオートスタンバイでいう「無音状態」ではありません。
- AUX端子に接続した、デジタルオーディオプレーヤーの音声を聞いているとき、入力される音声信号レベルが小さいと、オートスタンバイ機能がはたらいて、音が聞こえていても電源が「**切**」になる場合があります。

ディマー

表示窓の明るさを変えることができます。

ディマー を押す

- 電源「**入**」のときに押すと、次のように切換わります。

ディマー
DIMMER 1：表示窓とCD、MEMORY、USBの再生ボタンが暗くなります。
↓
DIMMER 2：表示窓がさらに暗くなり、CD、MEMORY、USBの再生ボタンが消灯します。
↓
DIMMER OFF：ディマー解除(お買い上げ時の状態)。
(DIMMER 1に戻る)

- 電源「**切**」のときに押すと、表示窓の時計表示の消灯(DISPLAY OFF)または点灯(DISPLAY ON)に切換わります。
「DISPLAY OFF」に設定すると、低消費電力モードになります。

チャイルドロック

CDが取り出せないようにできます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

■ 電源「切」のとき

本体の ■ を押したまま ▲ を押す

LOCKED

チャイルドロックすると、電源「**入**/**切**」にかかわらず ▲ を押しても、「LOCKED」と表示され、CDを取り出せなくなります。
電源「**切**」のときに ▲ を押すと「LOCKED」が表示されますが、電源は入りません。

解除するには

■ 電源「切」のとき
もう一度、上記の操作をします。

UNLOCKED

ディスクとファイルについて

CDのマークを確認してください

文字のある面に、COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

- 本機では、CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

本機で再生できるディスクについて

本機のCDプレーヤーでは、COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークが付いている音楽CD以外に、MP3/WMAファイルが収録されているCD-R/CD-RW、DVD-R/RWの再生ができます。

- ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。

再生できるファイルについて

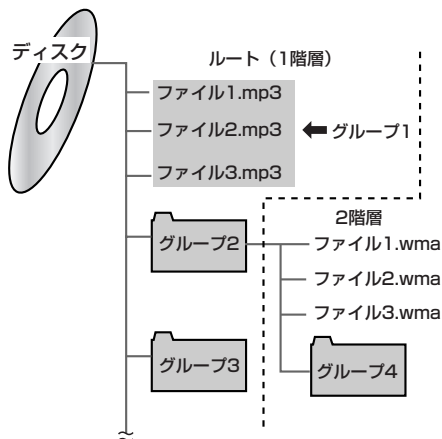
本機では、CD-R/CD-RW上またはDVD-R/RW上にあるMP3/WMAファイルの再生ができます。

- **MP3/WMAファイル**
  「.MP3」「.mp3」「.WMA」「.wma」の正しい拡張子が付いているファイルが再生できます。
  - タグ情報（ID3-Tag、WMA-Tag）に対応しています。タグ情報は表示窓に表示されます。
    - ファイル名やグループ名に半角英数字または半角カタカナ以外の文字を使用すると、正しく表示されません。
  - MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。
- ディスクの読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
- ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。

ファイル/フォルダ（グループ）について

本書ではフォルダを「グループ」と呼んでいます。

本機が1枚のCD-R/CD-RWまたはDVD-R/RWで認識、再生できるファイル数とグループ数は、次のようになります。

- グループ数は99、1グループあたりのファイル数は150、全体で最大4000ファイルまで認識できます。ただし、ディスクにファイルだけ収録されているときは、ディスク自体が一つのグループと数えられるため、ファイルは150までになります。
- 最大グループ数は99グループまで
  - 再生できないファイルは数えません。
  - 空のフォルダや再生できるファイルの入っていないフォルダは、グループとして数えられません。
  - 再生できるファイルがどのグループにも含まれないとき（ルートにあるとき）は、そのファイルはグループ1として扱われます。

ディスク作成時の注意

CD-R/CD-RW、DVD-R/RWディスクを作成するときは、次のことに注意してください。

- **ディスクフォーマットを「ISO 9660」にする**
- **パケットライト方式（UDFフォーマット）は使わない**
- **必ずファイナライズする**

ファイル作成時の注意

ファイル/グループを作成するときは、次のことに注意してください。

- **正しい拡張子を付ける（大文字小文字の混在も可）**
  MP3ファイル　「.MP3」「.mp3」
  WMAファイル　「.WMA」「.wma」
- **ファイル/グループ名には半角英数字または半角カタカナを使用する**

内蔵メモリーとUSB機器について

本機で再生できるファイルについて

本機では、MP3/WMA/WAVファイルの再生ができます。

- **MP3/WMA/WAVファイル**
  「.MP3」「.mp3」「.WMA」「.wma」「.WAV」「.wav」の正しい拡張子が付いているファイルが再生できます。
  - ファイル名やグループ名に半角英数字または半角カタカナ以外の文字を使用すると、正しく表示されません。
  - MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。
- USB機器の場合、読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数、接続されているUSB機器によって異なります。
- USB機器の特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。
- USBカードリーダー、USBハブには、対応していません。

ファイル作成時の注意

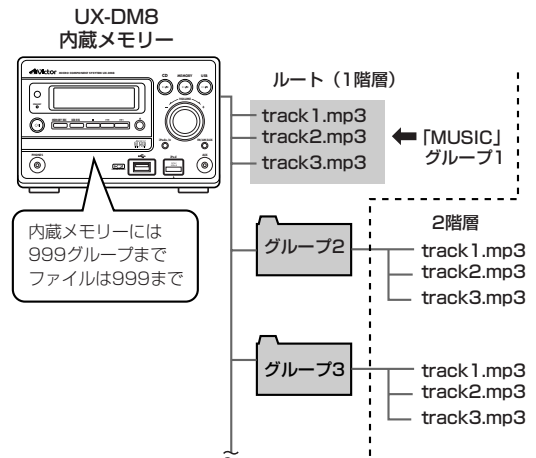
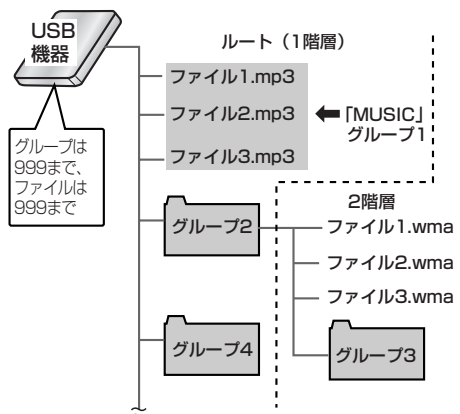
パソコンでファイル/グループを作成するときは、次のことに注意してください。

- **正しい拡張子を付ける(大文字小文字の混在も可)**
  MP3ファイル　「.MP3」「.mp3」
  WMAファイル　「.WMA」「.wma」
  WAVファイル　「.WAV」「.wav」
- **ファイル/グループ名には半角英数字または半角カタカナを使用する**

ファイル/フォルダ(グループ)について

本書ではフォルダを「グループ」と呼んでいます。本機が内蔵メモリーまたはUSB機器で認識できるファイル数とグループ数は、次のようになります。

- 999トラックまで認識できます。
- 最大グループ数は999グループまで
  - 本機に対応していないファイルは数えません。
  - 空のフォルダや再生できるファイルの入っていないフォルダも１つのグループとして数えられます。
  - 1000以上のグループが収録されているUSB機器を接続した場合、本機が認識できる最大グループ数の999を越えたグループは認識されません。また認識されないグループ内のファイルも認識されないため、最大ファイル数が999未満になる場合があります。
  - USB機器の場合、再生できるファイルがどのグループにも含まれないとき(ルートにあるとき)は、そのファイルはグループ1として扱われます。

内蔵メモリーのとき:

USB機器のとき:

CD/内蔵メモリー/USB/iPodのメッセージ

CDのメッセージ	意味	処置
CANNOT PLAY	再生できないCDまたは傷の多いCDを再生しようとした。	CDを交換してください。
CD NO DISC	CDが入っていない。	CDを入れてください。
	CDが裏返しに入っている。	CDを正しく入れてください。
	再生できないCDまたは傷の多いCDを再生しようとした。	CDを交換してください。

内蔵メモリー/USBのメッセージ	意味	処置
DATA FULL	内蔵メモリーまたはUSB機器に空き容量がない。	曲を削除する。 他のUSB機器に変える。
	USB機器が書き込み禁止状態になっている。	USB機器を書き込み可能な状態にする。
TRACK FULL	1つのグループに999以上トラックがある。またはトラックが999以上ある。	曲を削除する。 他のUSB機器に変える。
GROUP FULL	グループ数が999を超えている。	グループは999まで作ることができます。
CANNOT FORM GROUP	グループが作成できない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
CANNOT MOVE	曲の移動ができない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
	USB機器が書き込み禁止状態になっている。	USB機器を書き込み可能な状態にする。
CANNOT REC NORMAL ONLY	倍速録音ができない。	等速録音してください。
CANNOT ERASE	曲の削除ができない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
	USB機器が書き込み禁止状態になっている。	USB機器を書き込み可能な状態にする。
CANNOT TITLE	タイトル編集ができない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
USB DEVICE ERR	本機では、再生/録音ができないUSB機器です。	別のUSB機器に変える。 • 本機でフォーマット(初期化)をすると、再生/録音ができるようになることもあります。ただし、フォーマット(初期化)すると全データが消去されます(➡48ページ)。
FORMAT ERROR	フォーマット(初期化)できない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
	USB機器が書き込み禁止状態になっている。	USB機器を書き込み可能な状態にする。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再び倍速録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーがはたらいています。74分以上待つか、または等速録音してください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	アナログ録音してください(➡39ページ)。
TRACK PROTECTED	本機以外の機器によって、その曲が誤消去防止になっている。	録音した機器で編集操作してください。
CANNOT PLAY	本機で再生できないファイル。	その曲は再生されませんが、数秒後に自動で次の曲が再生されます。

内蔵メモリー/USBのメッセージ	意味	処置
MEM NO AUDIO	内蔵メモリーに何も録音されていません。	―――
USB NO AUDIO	USB機器に音楽ファイルが入っていません(音楽ファイル以外のデータが入っている可能性はあります)。	―――
NO USB	USB機器が接続されていない。	―――
CANNOT REC	内蔵メモリー⬌USB間でランダム再生またはグループランダム再生を録音しようとしている。	ランダム再生、グループランダム再生の録音はできません。
	iPodの音声をUSB機器に録音しようとしている。	iPodの音声は、USB機器に録音できません。
CANNOT REC CHANGE MSC	USBモードが「**AUTO**」になっている。	USBモードを「**MSC**」にしてください(➡32ページ)。
CANNOT REC MTP DEVICE	このUSB機器には録音できません。	本機で録音できるUSB機器に変えてください。
CANNOT EDIT CHANGE MSC	USBモードが「**AUTO**」になっている。	USBモードを「**MSC**」にしてください(➡32ページ)。
CANNOT EDIT MTP DEVICE	このUSB機器は、本機で編集できません。	―――
DRM ERROR	著作権保護の制約により本機で再生できない(ライセンスが切れている、再生回数制限をオーバーしているなど)。	―――
DRM FILE EXIST	曲を削除する(ERASE)ときに、著作権保護付き(WMA-DRM)の曲を選んでいる。	著作権保護付き(WMA-DRM)の曲は本機で削除できません。
	著作権保護付き(WMA-DRM)の曲を転送しようとしている。	内蔵メモリーへ著作権保護付き(WMA-DRM)の曲は転送できません。
DRM FILE	USBモードが「MSC」のとき、またはMSC機器を接続しているときに著作権保護付き(WMA-DRM)の曲を再生しようとしている。または「USBデジタルメディアストリーミング」非対応のMTP機器で著作権保護付き(WMA-DRM)の曲を再生しようとしている(➡33ページ)	その曲は再生されませんが、数秒後に自動で次の曲が再生されます。

iPodのメッセージ	意味	処置
iPod NO CONNECT	iPodが接続されていない。	―――
RESTRICTED	⭠(USB)端子にiPodを接続している。	⭠(USB)端子からiPodをはずす。iPodはiPod専用ケーブルでiPod端子に接続してください。

内蔵メモリー/USB機器の制約について

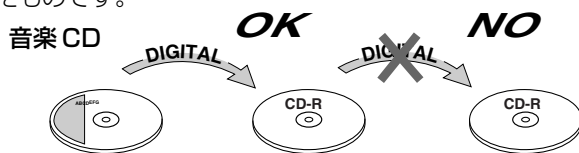
SCMS (Serial Copy Management System)

（シリアル コピー マネージメント システム）

CDのクリアな音を他のデジタル機器（MD、内蔵メモリー、USBなど）にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル·コピー·マネージメント·システム)といいます。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

シリアル·コピー·マネージメント·システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03−5353−0336（代）

ご注意

- デジタル録音したCD-R/CD-RWディスクは、アナログ録音してください(➡39ページ)。

倍速録音に関して（HCMS）

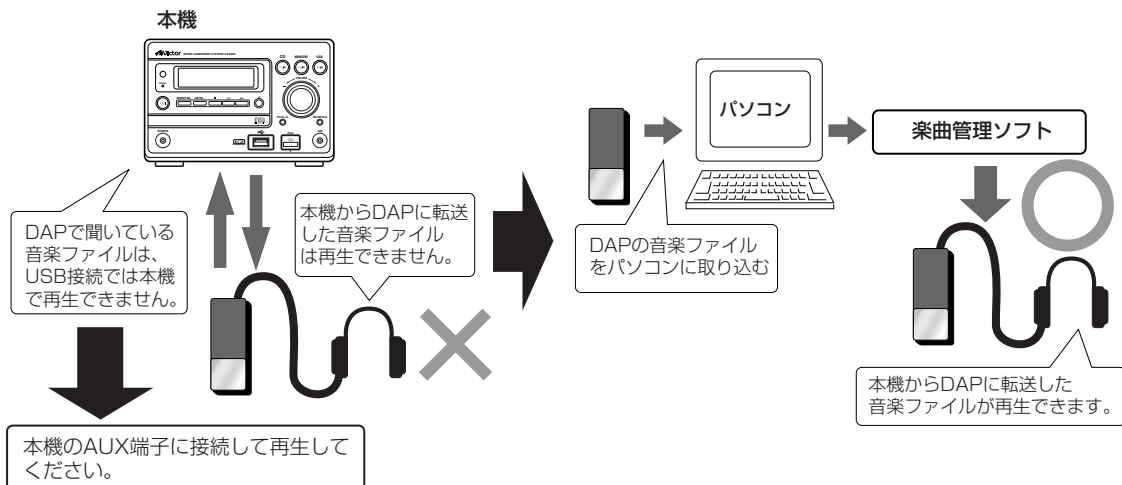
内蔵メモリーおよびUSB機器は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。

本機では、CDから一度倍速録音（等速を超える録音）した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の倍速での再録音はできません。

例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再び本機で倍速録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で100曲まで録音することができます。

専用の楽曲管理ソフトを使用するDAPのとき

（Microsoft® Windows® Media Player以外のソフトで音楽ファイルを管理しているDAPのとき）

- DAPで聞いている音楽ファイルは、USB接続では本機で再生することはできません。AUX端子に接続して再生してください(➡28ページ)。
- 本機から転送した音楽ファイルは、DAPで再生できません。
  DAPに転送した音楽ファイルをパソコンに取り込み、楽曲管理ソフトを使ってDAPに対応したフォーマットに変換すると、再生することができます。詳しくは、DAPの取扱説明書をご覧ください。
  ただし、すべてを保証するものではありません。

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
スピーカーから音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページを参照し、正しく接続し直す。	11
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	8
時刻表示が点滅している。	停電があった。または電源コードを抜いた。	時計を合わせ直す。	12
CDの再生がはじまらない。	CDが裏返しに入っている。	文字のある面を上にして入れる。	18
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1 〜2 時間待ち、乾いてから使う。	7
特定の箇所が正常に再生できない。	CDに傷や汚れがある。	CDをクリーニングするか、または交換する。	7
放送が受信できない。	アンテナが接続されていない。	アンテナを接続する。	10
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	7
タイマーがはたらかない。	時計を合わせていない。	時計を合わせる。	12
	電源が「**入**」になっている。	タイマー設定後、電源を「**切**」にする。	50,51
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池(単3形)と交換する。	7
本機の表示窓に「CONNECT」と表示されているのにiPodが再生できない。	iPodのバッテリーが消耗している。	iPodを充電する。	27
本機に対応しているUSB機器を接続しているのに「CANNOT REC MTP DEVICE」または「CANNOT EDIT MTP DEVICE」と表示される。	本機がUSB機器の種類を誤認識している可能性があります。	本機のUSBモードを「**MSC**」に変更してください。録音、編集ができるようになる可能性があります。	32

●上記の処置をしても正しく動作しないときは…
本機はマイコンのはたらきで多くの動作を行なっております。万一、雷や静電気等による動作の異常が発生したときやボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

お願い

- 本機の故障または不測の事態により、録音･再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。
- 大切なデータはUSB機器からパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」(➡61ページ)をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　出張修理

59ページの**「故障かな？と思ったら」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	マイクロコンポーネントシステム
型　　名	UX-DM8-B、UX-DM8-W、UX-DM8-S
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  1 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  2 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 25-2533	旭川市5条通17丁目1439番地1
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	奥州市水沢区天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027) 255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028) 635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029) 246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042) 646-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055) 227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025) 241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026) 221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(059) 352-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫路 S.S.	(079) 234-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1006

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 ー本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。ー

■ CDレシーバー
（CA-UXDM8-B/CA-UXDM8-W/CA-UXDM8-S）

アンプ部

実用最大出力	20 W × 2 ch (THD10%/4Ω)
入力端子 <アナログ>	AUX×1 500 mV/47 kΩ：LEVEL1 250 mV/47 kΩ：LEVEL2 125 mV/47 kΩ：LEVEL3
出力端子 <アナログ>	スピーカー×1系統、20 W/4 Ω 適合インピーダンス 4 Ω～16 Ω ヘッドホン(×1)、6 mW/32 Ω 適合インピーダンス 16 Ω～1 kΩ

チューナー部

受信周波数	FM：76.00 MHz～108.00 MHz (0.05 MHzステップ) AM：531 kHz～1,629 kHz (9 kHzステップ)
アンテナ	FM：75 Ω不平衡型 AM：ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式	3プログラム動作（ONCE/WEEKLY切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150、180分(オートディマー機能)
時刻表示	24時間表示

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ

内蔵メモリー部

形式	フラッシュメモリー
容量	1 GB
再生フォーマット	MP3、WMA、WAV（リニアPCM）
音声圧縮録音方式	MP3
ビットレート	録音時のモードXP： 192 kbpsのビットレート （1曲4分として約160曲） 録音時のモードSP： 128 kbpsのビットレート （1曲4分として約250曲） 録音時のモードLP： 64 kbpsのビットレート （1曲4分として約500曲）

USB部

USB端子	USB Ver. 1.1
形式	MTP/MSC
ファイルシステム	FAT/FAT32（NTFSには対応していません）
再生フォーマット	MP3、WMA、WAV（リニアPCM、MSCのときのみ）
音声圧縮録音方式	MP3
USB出力電源	5 V/500 mA

iPod部

iPod出力電源	5 V/500 mA

共通部

電源電圧	AC 100 V(50 Hz/60 Hz共用)
消費電力	電源「入」時 35 W 電源「待機(QP LINK ON/DIMMER OFF(表示窓点灯))」時 7 W 電源「待機(QP LINK OFF/DIMMER OFF(表示窓点灯))」時 5.5 W 電源「待機(QP LINK OFF/DISPLAY OFF(表示窓消灯))」時 0.9 W
最大外形寸法	幅210 mm × 高さ140 mm × 奥行259 mm
質量	約 2.4 kg

■ スピーカー：1本当たり
（SP-UXDM8-B/SP-UXDM8-W/SP-UXDM8-S）

形式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用：11 cmコーンスピーカー ×1 高音用：2.0 cmドームスピーカー×1
最大入力	20 W(JIS)
定格インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	55 Hz～40 kHz
出力音圧レベル	83 dB/W·m
最大外形寸法	幅140 mm × 高さ 251 mm × 奥行 234.5 mm
質量	約 3.1 kg(1本)

■ マイクロコンポーネントシステム
（UX-DM8-B/UX-DM8-W/UX-DM8-S）

総　合

最大外形寸法	幅 490 mm × 高さ 251 mm × 奥行259 mm
質量	約 8.6 kg

再生対応フォーマット*1

CD-R/CD-RW、DVD-R/DVD-RW

MP3：	8 kbps～320 kbps、 16 kHz～48 kHz、VBR
WMA：	32 kbps～320 kbps

内蔵メモリー/USB

MP3：	8 kbps～320 kbps、 8 kHz～48 kHz、VBR
WMA：	8 kbps～320 kbps、 8 kHz～48 kHz、VBR
WAV：	16 bit、リニアPCM、 8 kHz～48 kHz

*1 サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
VBR：可変ビットレート

索 引

別売りのオプション品

• CD レンズクリーナー	: CL-CDLA
• アンテナコネクター	: VZ-71A（300 Ω /75 Ω対応）
• アンテナコード	: VX-22A
• FM フィーダーアンテナ	: CN-511A（300 Ω対応）（アンテナコネクター : VZ-71Aと一緒に使います。）

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
61ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (045)450-8950 FAX (045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

• ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについては、60ページをご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0107YAMNATJEM